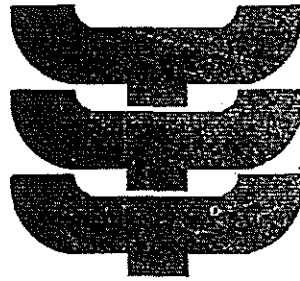


平成28年度

久留米市文化財専門委員会



- ◆ 日 時 平成28年10月7日(金) 14:00～
- ◆ 会 場 久留米市六ツ門町3-11
久留米市市民活動サポートセンターみんくる
セミナー室1・2

市民文化部文化財保護課

平成28年度 久留米市文化財専門委員会

日時：平成28年10月7日(金) 14:00～

会場：久留米市市民活動サポートセンターみんくる
セミナー室1・2

次 第

1 開会

2 教育長挨拶

3 平成28年度配属職員の紹介

4 議 事

第1号議案 久留米市文化財の指定について

◇小川文書（有形文化財）

概要説明

有形文化財部会報告

指定審議

5 報 告

- ・ (1) 平成27年度の事業報告
- ・ (2) 平成28年度の事業概要
- ・ (3) 平成27年度文化財専門委員会議事録の確認
- ・ (4) その他

6 閉会

4. 議 事

久留米市文化財の指定について

このことについて、下記の資料が市指定文化財に申請されましたので、審議願います。

- 1 名 称 小川文書 附小川鏡御影覚附並大友家文書
- 2 種 別 有形文化財（古文書）
- 3 所有者 田主丸町小川区（区長 怡土 廣敏）

第 号
平成28年 9月 29日

久留米市教育委員会
教育長 堤 正 則 殿

申請者 小川区長
住所 久留米市田主丸田5船越
氏名 怡工廣敏

久留米市文化財指定申請書

下記により申請いたします

記

1. 有形文化財、無形文化財、有形民俗文化財、無形民俗文化財又は史跡名勝天然記念物の区別
有形文化財（古文書）
2. 名 称
小川文書 附小川鏡御影覚附並大友家文書
3. 保管場所
久留米市諏訪野町1830-6 久留米文化財收藏館
4. 所有者および権原に基づく占有者並びに管理責任者又は保持者及び保持団体（以下「所有者等」という。）の氏名（保持団体にあつては代表者）又は名称及び住所
氏名： 申請者に同じ
住所：



5. 員数及び法量

23点 (附1点を含む)

別紙目録のとおり

6. 由来、微証、伝説、作者及び伝来等

小川文書は、小川天満宮（田主丸町船越）に伝来した史料群である。

小川氏は、小川に居館を構えていた中世の土豪である。小川藤五郎が、菅原道真に従って太宰府に下った。この時、道真は鏡に向かって自画像を描き、藤五郎ら3人の臣下に与えた。やがて藤五郎は竹野に来住した。その子孫である隣甫は豊後大友氏に臣従したが、キリスト教への改宗を拒んで、居館に攻め込まれ、英彦山に逃れた。大友氏没落後に小川へ帰還し、天神の画像を納めて天満宮を起こした。これが小川天満宮である。

小川文書は、15世紀から16世紀にかけての大友氏当主の発給文書を中心とする。寛保2年(1742)の「小川鏡御影覚附並大友家文書」(B2008-003-附)に、「小河氏江大友家より文書拾六通、同写四通」とあるように、寛保2年頃までにはB2008-003-001～020が「大友家文書」というまとまりを形成し、木箱に納められ、保管されてきた。

7. 現 状

所有団体より平成20年に寄託され、久留米文化財収蔵館で保管し管理している。寄託以降、3年に1回程度燻蒸を実施し、良好な状態を保っている。

8. その他参考となる事項

久留米市内で現存を確認できる中世文書を含む史料群は、以下の4件である。

①高良大社所蔵文書 県指定

②大善寺玉垂宮関係文書 市指定

(大善寺玉垂宮文書、御船家文書、隈家文書、梅津家文書)

③厨家文書

④小川文書

※①は高良大社所蔵、②～④は久留米市教育委員会に寄託

このうち中世～戦国時代の土豪の由来する文書は②④のみで、②についてはすでに文化財として指定されている。

久留米市文化財指定（有形文化財）候補

「小川文書」に関する調査報告

平成28年10月7日

名称：小川文書 附 小川鏡御影覚附 並 大友家文書

所在地：久留米市諏訪野町1830-6

所有者：田主丸町小川区（区長 怡土 廣敏）

調査者：久留米市 市民文化部文化財保護課 穴井綾香

調査内容：保管場所にて状況調査を実施

（1）員数・法量等

別紙目録のとおり

（2）保存状況及び物件の概要

平成20年度、田主丸町船越の小川天満宮に伝来してきた資料が、小川区長より久留米市教育委員会（文化財保護課）に寄託され、久留米文化財収蔵館で管理している。寄託以降、3年に1回程度燻蒸を実施し、良好な状態を保っている。

寄託時における資料群の名称・点数・番号は、次のとおりである。個々の資料については、別紙目録を参照されたい。

①中世小川文書 23点 B2008-003-001～020・番外1～2・附

②小川天満宮資料 142点 B2008-002-001～142

所蔵を同じくする資料が、特に①②に分けられた理由は、伝来の経緯にある。①は、寛保2年（1742）の「小川鏡御影覚附並大友家文書」（B2008-003-附）に、「小河氏江大友家より文書拾六通、同写四通」とあるように、寛保2年頃までにはB2008-003-001～020が「大友家文書」というまとまりを形成しており、寄託時にも②とは別に、木箱に納められていた。これを踏まえて、中世の土豪・小川氏に由来する資料（①）と、天満宮の活動に由来する資料（②）とに分けられている。

（3）調査の所見

大友氏発給文書については差出書（署名・花押）により、おおよその年代が判明する（別紙翻刻参照）。小川文書は、市内に伝来してきた数少ない中世文書であり、久留米市の戦国時代を語る貴重な古文書である。なお、市内で現存を確認できる中世文書を含む史料群は、以下の4件である。

①高良大社所蔵文書 県指定

②大善寺玉垂宮関係文書 市指定

（大善寺玉垂宮文書、御船家文書、隈家文書、梅津家文書）

③厨家文書

④小川文書

※①は高良大社所蔵、②～④は久留米市教育委員会に寄託

このうち中世～戦国時代の土豪に由来する文書は②④のみで、②についてはすでに文化財として指定されている。

小川文書
(B2008-003)

資料番号	資料名	年月日	縦/ 奥行	横/ 幅(cm)	個数	単位	品質・形状	内容等	注記	備考
B2008-003-001	大友持直預置状写	六月廿日	29.50	63.10	1	紙	切紙	(差)大友持直 (宛)津久見兵部少 輔殿 小河藤次郎 殿 敷部弾正忠殿	No.1~4は同一紙 裏貼紙「宝第壹号 ヨリ四号迄」	破れあり
B2008-003-002	大友親繁預置状写	三月五日			1	紙	切紙	(差)大友神繁(宛) 小河伊賀守殿久保 大炊助殿	No.1~4は同一紙	破れあり
B2008-003-003	田原親幸預置状写)	三月廿七日			1	紙	切紙	(差)田原親幸在判	No.1~4は同一紙	破れあり
B2008-003-004	田原親範預置状写	三月廿一日			1	紙	切紙	(差)田原親範在判	No.1~4は同一紙	破れあり
B2008-003-005	大友親匡知行安堵 状	文龜三年九月二 日	28.40	46.50	1	紙	切紙	(差)親匡(花押) (宛)菅藤五郎殿	裏貼紙「宝第五 号」封紙有 親 匡は後の義親	包紙水損・破れ
B2008-003-006	中紙請取状	十一月二日	27.20	16.90	1	紙	切紙	(差)竹田津志摩入 道一木(花押)(宛) 小川新左衛門尉殿	袖朱印有り 裏貼 紙「宝第六号」	
B2008-003-007	三原親賢打渡状	永正六年己巳十 二月十五日	24.70	40.70	1	紙	切紙	(差)右馬頭親賢 (花押)(宛)小河藤 五郎殿	裏貼紙「宝第七 号」	破れあり

小川文書
(B2008-003)

資料番号	資料名	年月日	縦/ 奥行	横/ 幅(cm)	個数	単位	品質・形状	内容等	注記	備考
B2008-003-008	大友氏加判衆連署 施行状	壬九月十四日	30.40	42.00	1	紙	竪紙	(差)永源(花押)、 永寿(花押)、隆実 (花押) (宛)小河 中務少輔殿	封紙有「小河中務 少輔殿 永源」 裏貼紙「宝第八 号」	包紙破れ
B2008-003-009	大友義鑑知行預状	九月九日	31.80	44.70	1	紙	竪紙	(差)義■(花押) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第九号」	
B2008-003-010	大友親安安堵状	三月廿八日	29.30	42.30	1	紙	竪紙	(差)親安(義鑑) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第十号」封紙有 「小河中務少輔殿 親安」	
B2008-003-011	御殿料請取状	三月五日	24.00	19.20	1	紙	切紙	(差)稻光二郎左衛 門尉他3名(宛)小 河中務少輔殿	裏貼紙「宝第十壹 号」	
B2008-003-012	大友宗麟朱印状	二月廿八日	24.70	39.20	1	紙	切紙	(差)宗麟(朱印) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第十貳号」	
B2008-003-013	大友義統知行預状	正月廿八日	18.10	49.30	1	紙	切紙	(差)義統(花押) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第十參号」封紙 有「小河中務少輔 義統」	
B2008-003-014	大友義鑑感状	十一月五日	24.70	41.00	1	紙	切紙	(差)義鑑(花押) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第十肆号」	

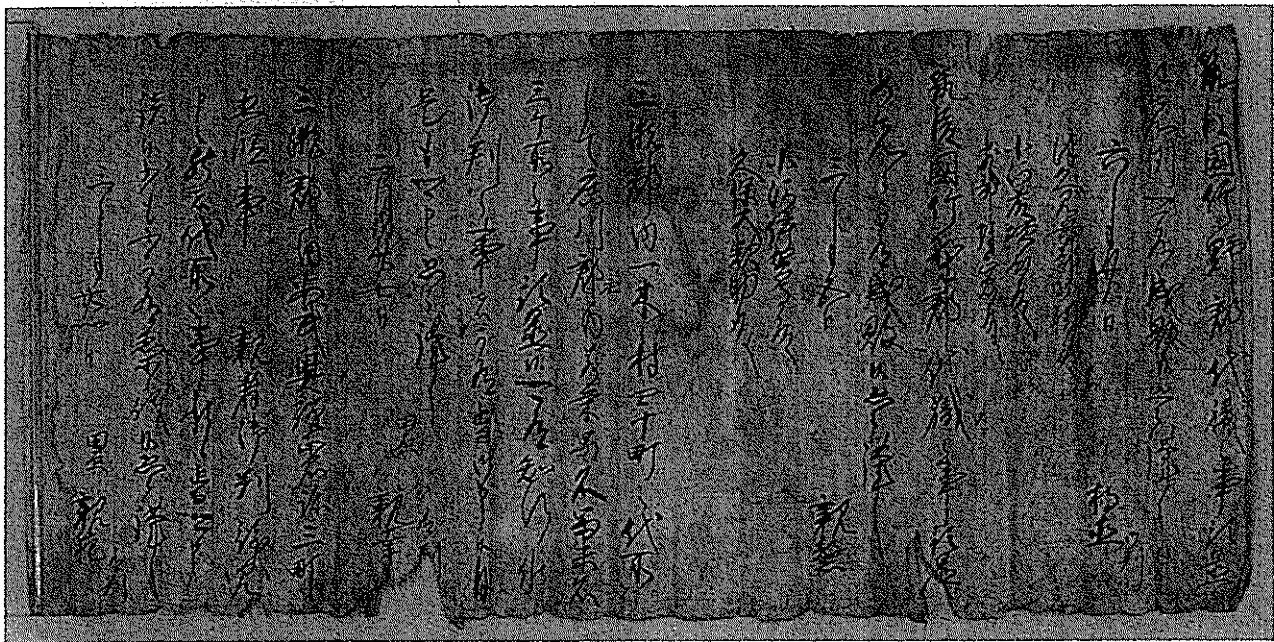
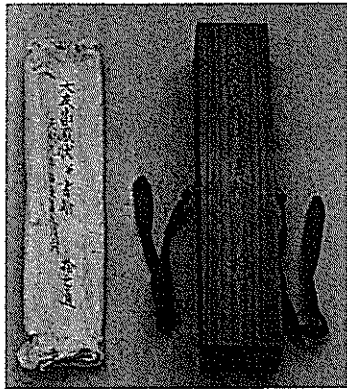
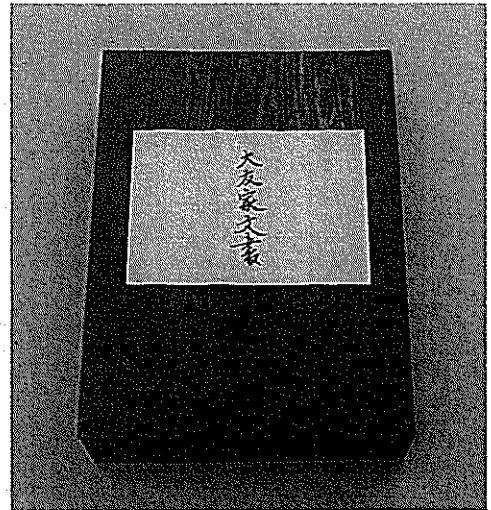
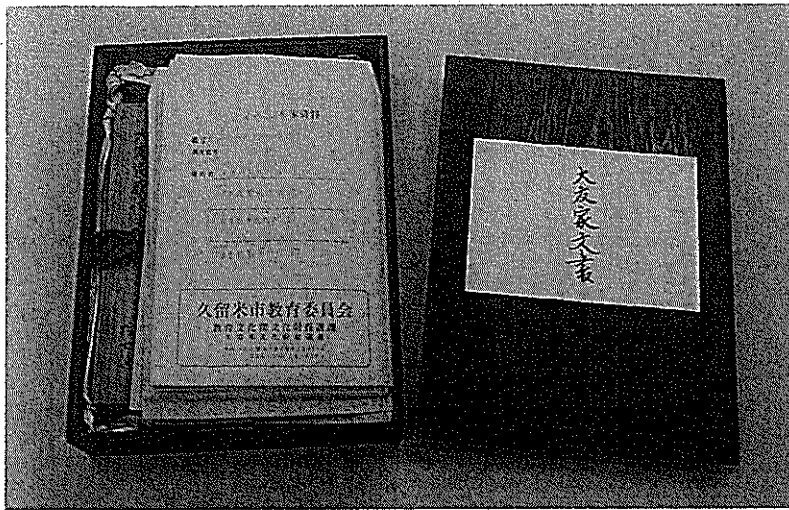
小川文書
(B2008-003)

資料番号	資料名	年月日	縦/ 奥行	横/ 幅(cm)	個数	単位	品質・形状	内容等	注記	備考
B2008-003-015	大友宗麟感状	十二月三日	17.70	47.80	1	紙	切紙	(差)宗麟(花押) (宛)小河六郎殿	切封 裏貼紙「宝 第拾五号」封紙 有「小河六郎殿 宗麟」	
B2008-003-016	大友義鎮感状	卯月十六日	27.20	43.60	1	紙	豎紙	(差)義鎮(花押) (宛)小河六郎殿	切封 裏貼紙「宝 第拾六号」封紙 有「小河六郎殿 義鎮」	包紙破れ
B2008-003-017	加冠状	永禄二年卯月十 六日	27.20	43.80	1	紙	豎紙	(宛)藤原鎮昌	裏貼紙「宝第拾七 号」	
B2008-003-018	大友義鑑感状	十二月廿六日	17.10	33.50	1	紙	切紙	(差)義鑑(花押) (宛)小河伊賀守殿	裏貼紙「宝第拾八 号」	穴あり
B2008-003-019	大友義鑑知行預状	十二月三日	28.00	42.00	1	紙	切紙	(差)義鑑(花押) (宛)小河伊賀守殿	切封 裏貼紙「宝 第拾九号」	
B2008-003-020	大友義鑑感状	三月十一日	15.80	46.60	1	紙	切紙	(差)義鑑(花押) (宛)小河伊賀守殿	封紙有「小河伊賀 守殿 義鑑」封 紙貼紙「宝第貳拾 号」	破れあり
B2008-003-番外1	封紙		35.90	25.50	1	紙	切紙	(差)義鎮(宛)小河 六郎殿		破れあり

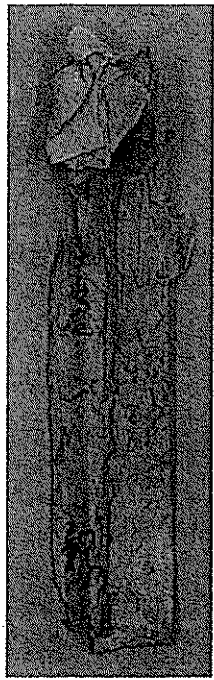
小川文書
(B2008-003)

資料番号	資料名	年月日	縦/ 奥行	横/ 幅(cm)	個数	単位	品質・形状	内容等	注記	備考
B2008-003-番外2	封紙		39.30	30.70	1	紙	切紙	(差)義■(宛)小河 中務少輔殿		破れあり
B2008-003-附	小川鏡御影覚附並 大友家文書	寛保二壬戌年四 月中旬			1	冊	書冊	天満社守小川平助 写之		

外箱



3 1 大友持直預置状写
 田原親幸預置状写
 4 2 大友親繁預置状写
 田原親範預置状写



花後國竹野部
 近奉抄の巻末に
 八町手申取材の三拾
 何地紙の巻末に
 百拾遺の巻末に
 文永三年九月二親匡有

5 大友親匡知行安堵状

中紙請取状
 大友親匡
 知行安堵状
 文永三年九月二日
 大友親匡
 知行安堵状
 文永三年九月二日

6 中紙請取状

7 三原親賢打渡状

飛渡國竹野部
 小川元七拾町同
 渡河分拾町同
 事白 御判者
 渡河一丁有不到
 河外必
 永正六年正月十日
 右三原親賢
 小川元七

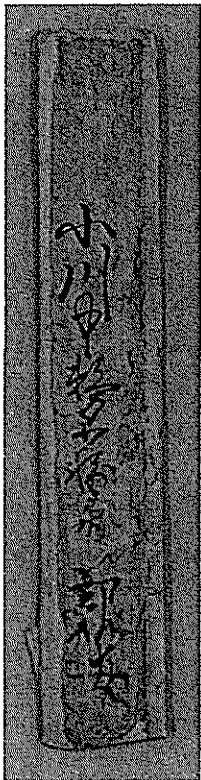
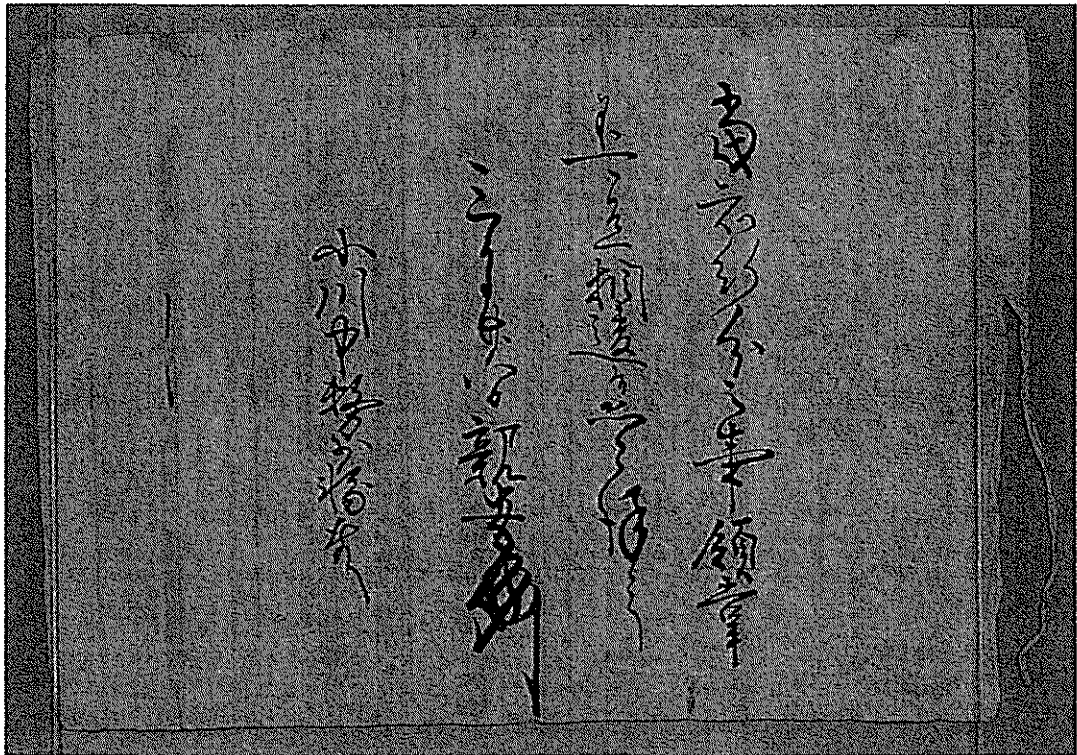
8 大友氏加判衆連署施行状

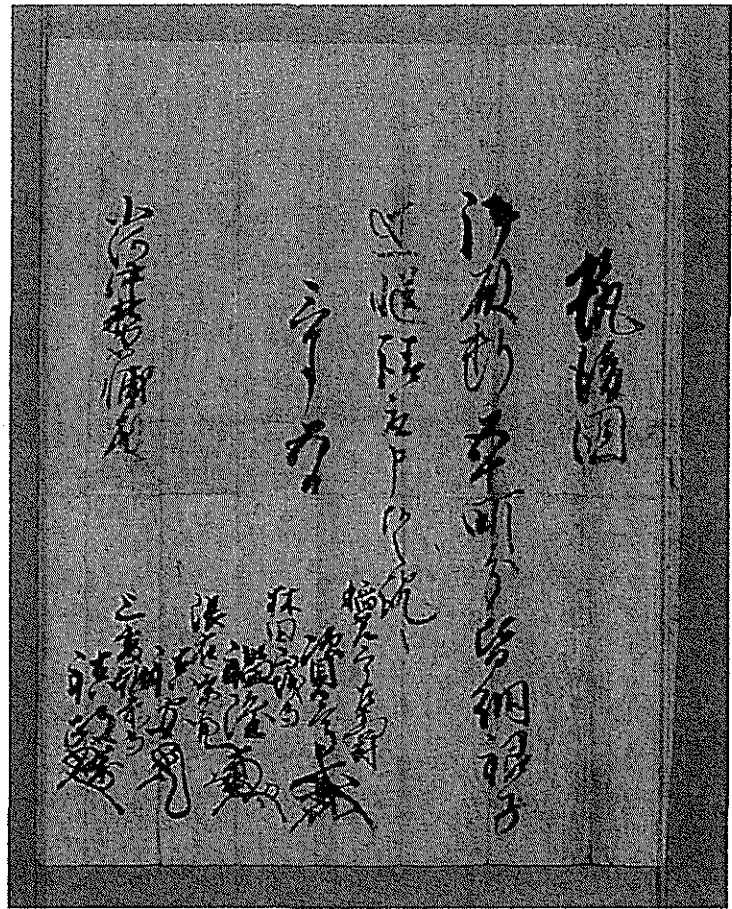
飛渡國秋坂
 三町三事任
 渡河内事
 事白 御判者
 永正
 小川元七
 渡河

9 大友義鑑知行預狀

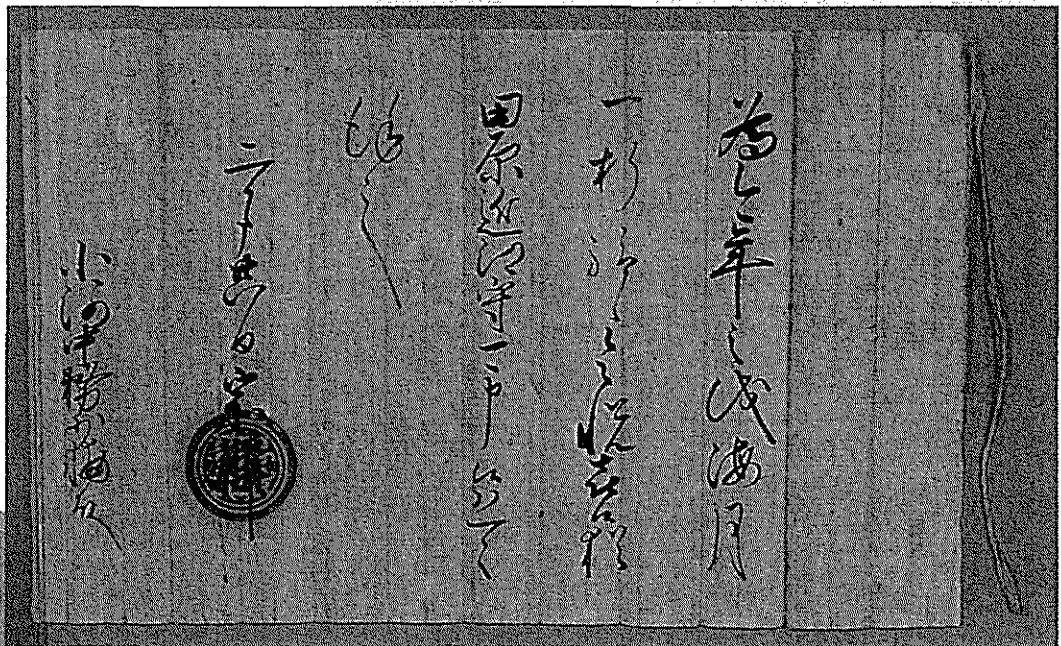


10 大友親安安堵状



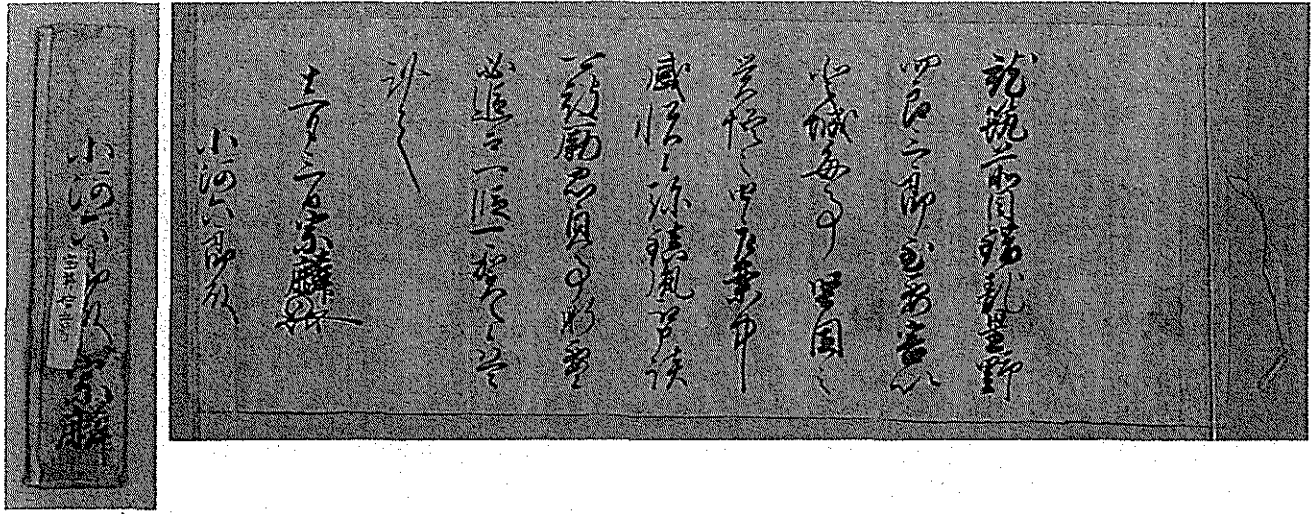


1 1 御殿料請取状

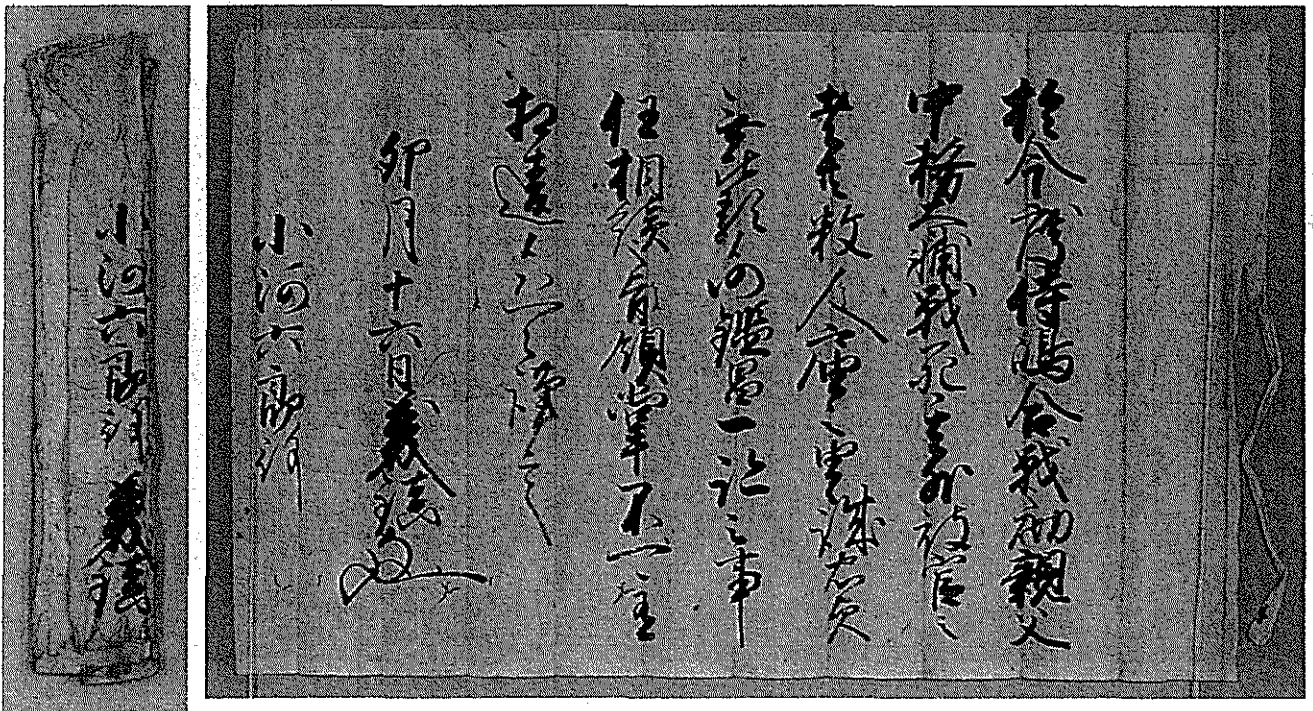


1 2 大友宗麟朱印状

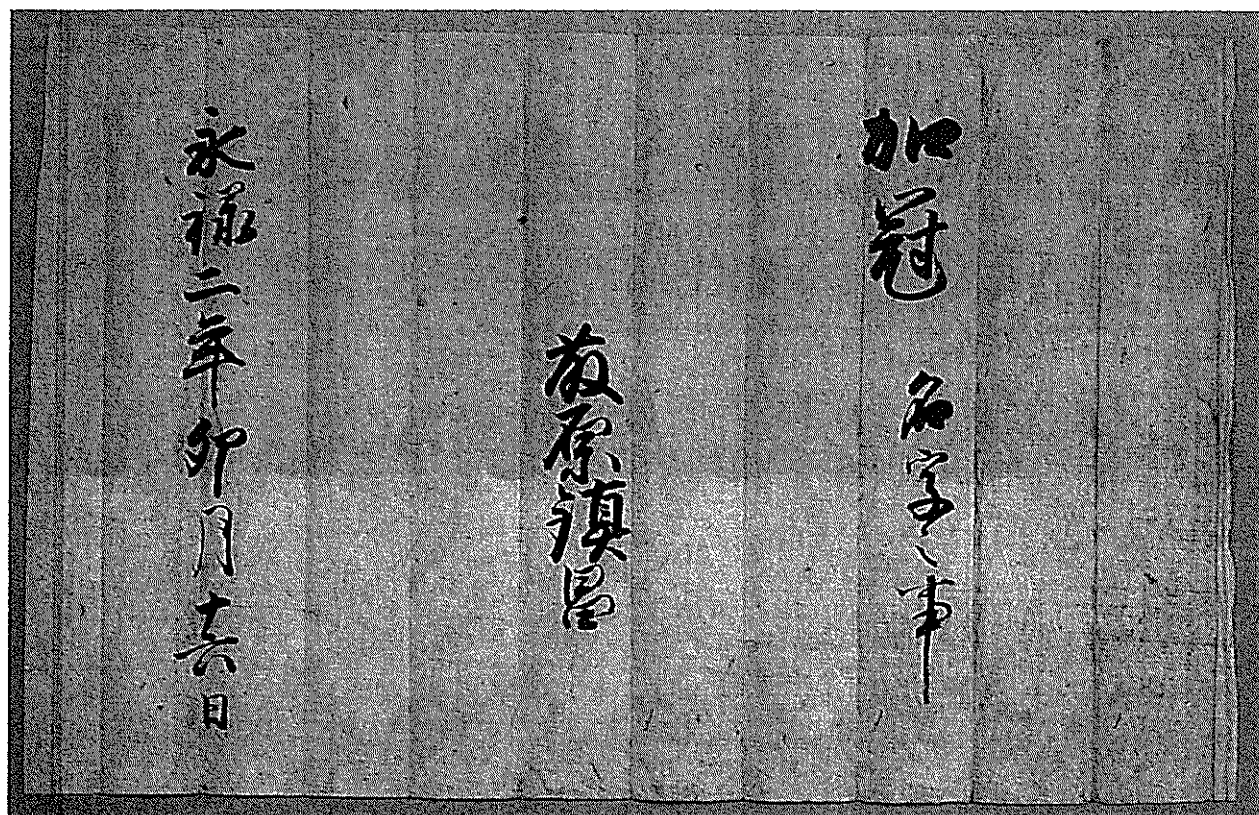




15 大友宗麟感状



16 大友義鎮感状

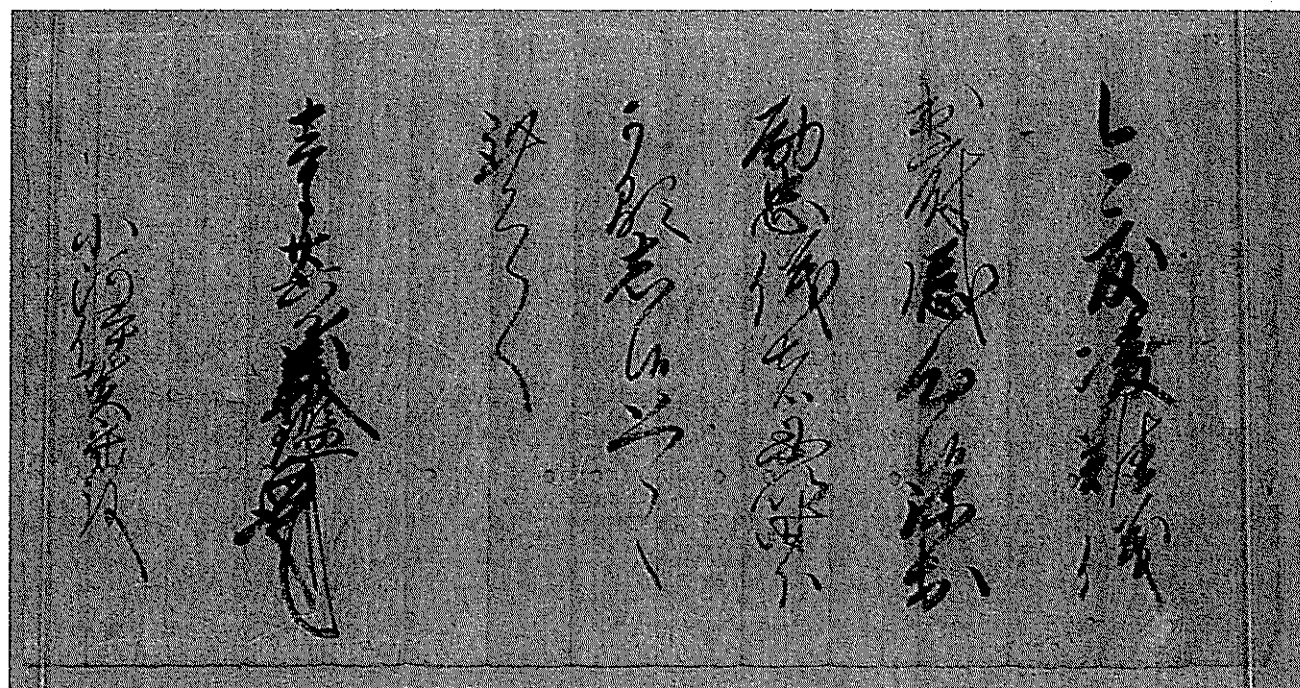


17 加冠状

永福二年卯月十六日

友原鎮昌

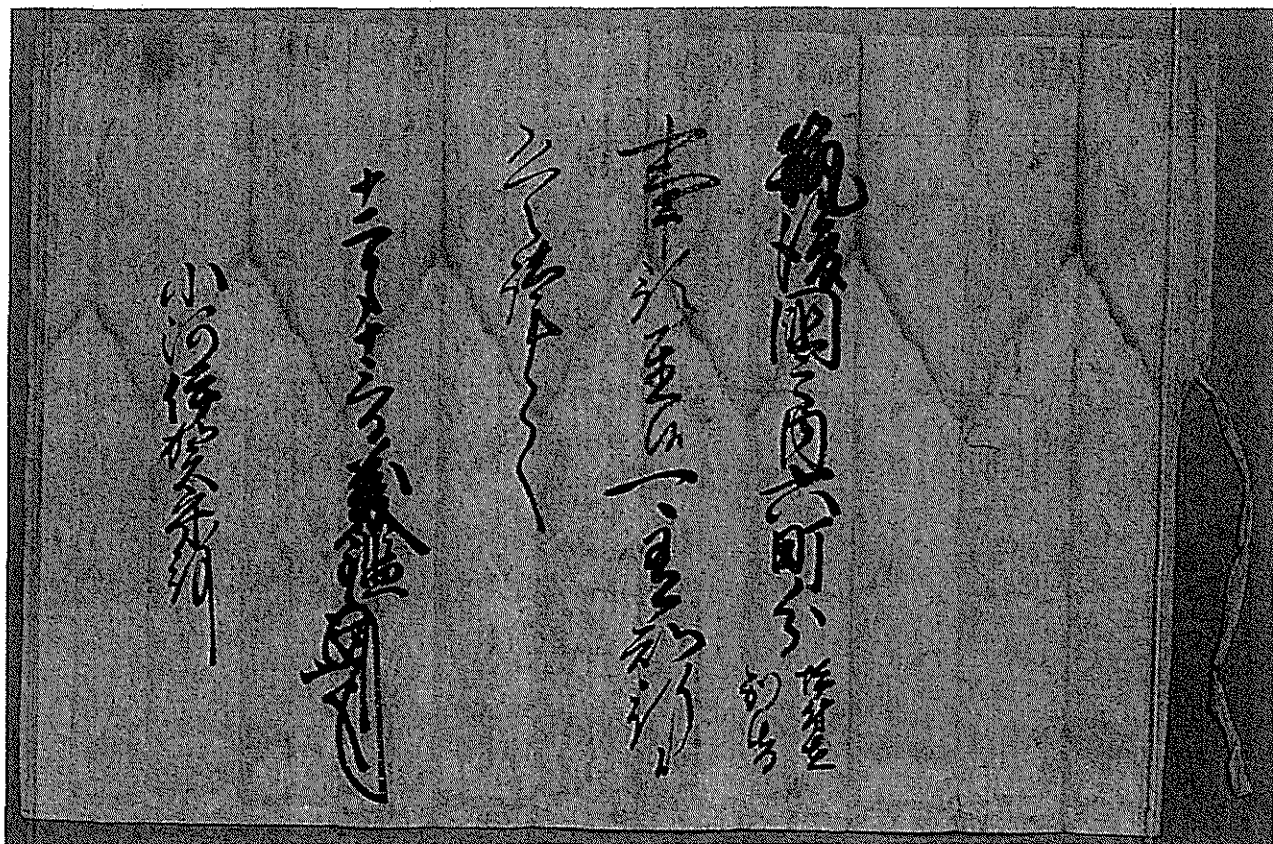
加冠 名字事



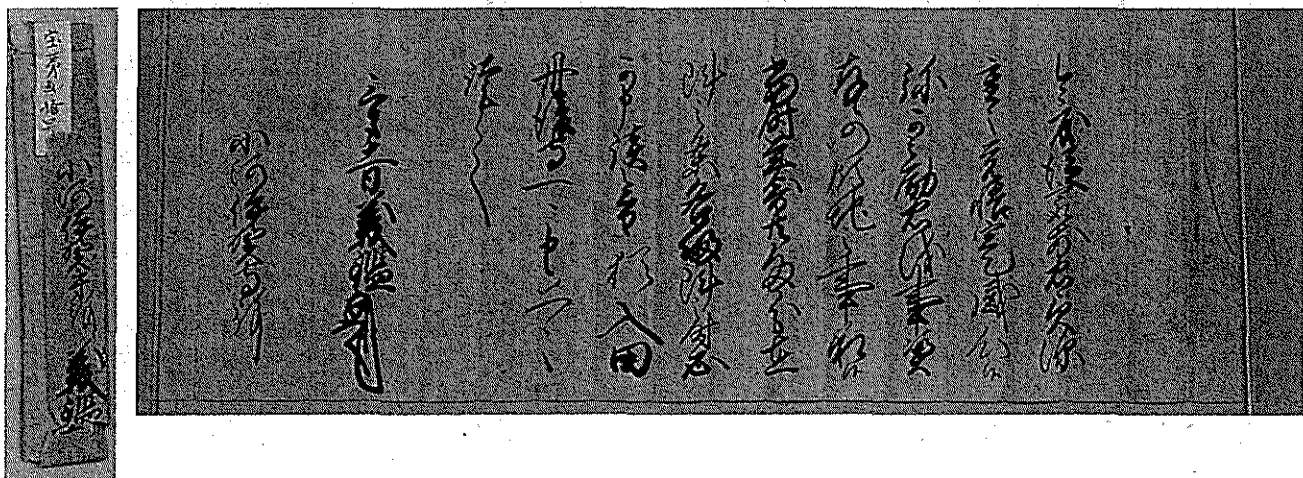
18 大友義鑑感状

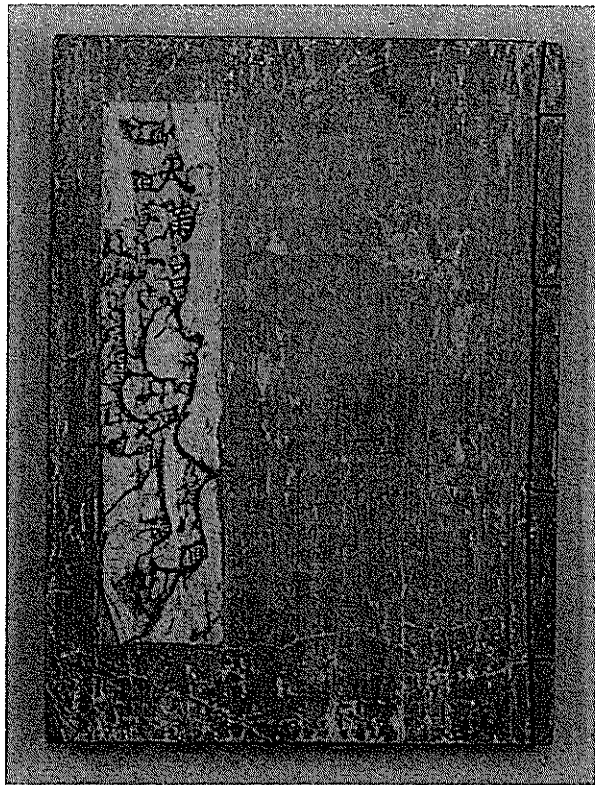
大友義鑑
 感状
 永福二年卯月十六日
 友原鎮昌
 奉書

19 大友義鑑知行預状

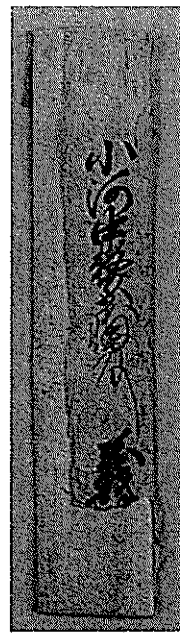


20 大友義鑑感状

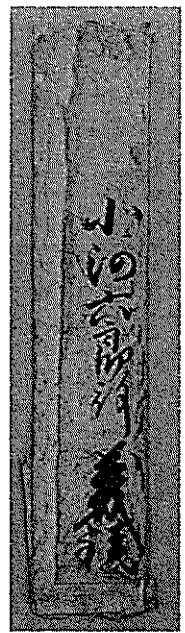




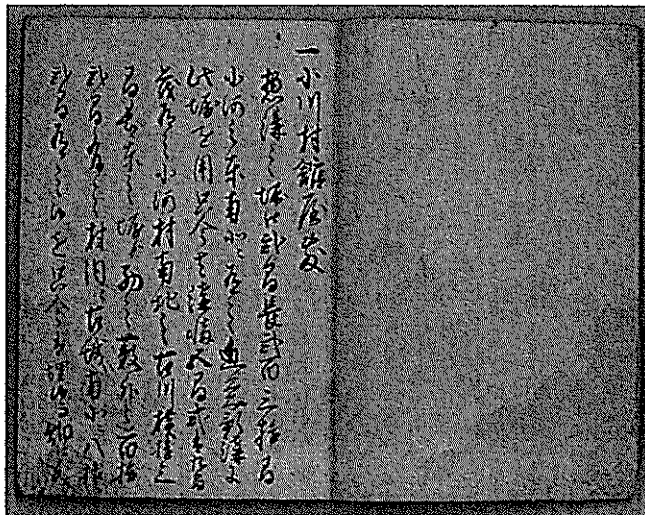
附 小川鏡御影竟附並大友家文書



番外2 包紙



番外1 包紙



5. 報 告

5 報告目次

報告（1） 平成27年度の事業報告

I. 組織と業務概要	19
II. 埋蔵文化財調査事業の概要	23
III. 文化財保存・整備事業	29
IV. 文化財管理事業	32
V. 歴史博物館整備検討事業	34
VI. 文化財の活用・周知普及	42
VII. 協議会・研修会派遣	48
VIII. 所管団体の事業	53

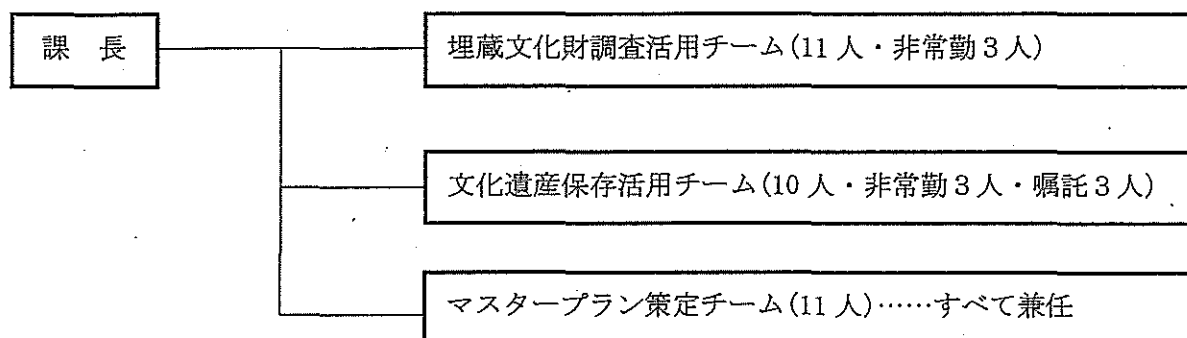
報告（2） 平成28年度の事業概要

I. 文化財保護課の体制	59
II. 文化財の指定	60
III. 埋蔵文化財調査事業	61
IV. 文化財保存・整備事業	62
V. 文化財管理事業	63
VI. 文化財の活用・周知普及	65
VII. 熊本地震による指定文化財等の被害状況	70

5 報告（1） 平成27年度の事業報告

I. 組織と業務概要

1. 組織



2. 事務分掌

- (1) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (2) 文化財の指定及び管理に関すること。
- (3) 文化財専門委員会に関すること。
- (4) 文化財関係団体に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関すること。
- (6) 収蔵館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (7) 文化財収蔵資料審議会に関すること。
- (8) 収蔵館の維持管理に関すること。
- (9) 博物館の建設準備検討に関すること。
- (10) 歴史公園に関すること。
- (11) 坂本繁二郎生家に関すること。
- (12) 埋蔵文化財センターに関すること。

3. 業務概要

国民の共有財産である文化財を保存・保護するとともに、それぞれの文化財の特性を活かした積極的な活用を図る。市民が歴史や伝統を身近に感じ、親しみ、暮らしに生かす機会を提供し、市民の郷土愛を醸成するとともに、魅力あふれる歴史環境の未来への継承に努めた。

また、「公益財団法人久留米絣技術保存会」、「公益財団法人有馬記念館保存会」を所管し、運営を行った。

(1) 文化財を守り伝える

- ① 埋蔵文化財発掘調査においては、開発と文化財保護の調整を図るとともに、事業の効率化、迅速化及び標準化など円滑な実施に努め、併せて調査結果の公表のため報告書を刊行するなど、市民の理解と協力を得る取組を行った。
- ② 埋蔵文化財センターを中心に、埋蔵文化財の整理・保存と調査・研究を行うとともに、生涯学習・教育活動の場としての活用を図った。
- ③ 継続して寺町の建造物調査を実施した。

(2) 文化財に親しむ

- ① 地域の文化財を紹介する小冊子である「歴史散歩」の No.41「平和への祈り」～久留米戦争史跡～及び、残部僅少となったNo.16「三島家長屋門」を発行し、文化財の周知、文化財保護の啓発・普及を図った。
- ② 生涯学習振興の観点から、埋蔵文化財センターでの考古資料展や、六ツ門図書館展示コーナーでの企画展等を開催し、その他、歴史探訪「坂本繁二郎ゆかりの地巡り」、学校の総合的な学習の時間における体験学習など、地域に根ざした文化財を学び、親しむ機会の充実に努めた。
- ③ 文化財の管理及び普及活動を行う22団体に対し、補助金の交付及び助言を行うことで、文化財の保護、周知普及を図った。
- ④ 市民が文化財に親しみ、理解することができるよう県指定有形民俗文化財「あげ舟」、「鷲塚古墳」などの説明板等の整備や「上津校区の文化財マップ」の作成を行った。
- ⑤ 「歴史博物館」の建設に備え、資料の調査を行うとともに、収集した資料の保存作業に取り組んだ。さらに、資料管理データの追加入力を行い、資料を有効活用できる検索システムを充実し、市民からの問い合わせの回答や資料貸出しを行った。また、六ツ門図書館展示コーナーを会場として、「戦後70年 平和資料展」6,695人、「みんなの特撮ヒーロー -戦後日本の大衆文化-」3,939人、「むかしのくらし展」6,317人を開催した。さらに、他部局主催として、「防災展」831人、「暮らしの中の人権Ⅰ・Ⅱ」538人、「人権ポスター展」500人を開催した。

(3) 文化財を暮らしに生かす

- ① 筑後国府跡については、史跡の公有化を進めるとともに、保存活用計画策定に向けた検討を継続した。また、御塚権現塚史跡の広場、おおはし歴史公園、大塚古墳歴史公園などの歴史公園については、地域の学校などの歴史学習や、地域住民のレクリエーションの場として活用された。
また、歴史遺産を固有のストーリーにより整理し、保存活用を図る歴史ルートづくり事業に着手した。
- ② 市内に現存する歴史的建造物の活用を図るため、寺町に所在する寺院を調査し基礎資料とした。坂本繁二郎生家においては、展示会・コンサート・小学生向けの体験講座など、さまざまな事業を実施し、まちづくりの拠点や歴史的教材としての活用を図った。

◎主な事業の概要

事業名	事業概要	予算額 (千円)	
		28年度	27年度
発掘調査事業	開発に際し、埋蔵文化財の現状保存ができないと判断した場合は、記録のため発掘調査を行った。同時に、わが国及び久留米地域の歴史・文化等への理解を促し、市民の郷土愛の醸成を目指し、その成果を公表した。	計 115,011 (当初) 補正後+29,008	計 73,215
埋蔵文化財センター事業	発掘調査に伴う出土品や記録類を集中管理し、調査研究するとともに、市民の多様な文化的活動の展開を拡大するため、展示会や体験学習、学校教育の「総合的な学習の時間」への支援事業等を実施する。	計 3,402	計 2,398
観光拠点整備事業 (有馬記念館運営補助)	有馬記念館の収蔵資料を保存・活用して、久留米の江戸時代や郷土の歴史に関する情報の公開展示を行い、久留米城跡等歴史文化施設とともに広くPRして観光拠点として集客を促進した。	計 13,301	計 8,326
文化財周知事業 (くるめ歴史のさと事業)	文化財に対する市民の理解と保護思想の高揚を図るため、説明板設置や歴史探訪等の事業、歴史散歩等印刷物の作成など文化財周知、普及活動を展開した。	28年度より史跡等環境整備事業に統合	計 1,285
歴史博物館整備検討事業	地域文化を知り、創造し、継承するための生涯学習施設として歴史博物館の整備を図った。六ツ門図書館展示コーナーでは、博物館資料の展示・公開や体験学習を通して集客効果を高め、博物館建設への市民意識の高揚を図った。	計 18,206	計 10,511
筑後国府跡 歴史公園整備事業	史跡筑後国府跡は、律令制における古代都市で、久留米の都市づくりの原点といえる。史跡の整備により、市民が歴史を学び、楽しく活用し、交流人口の増加を目指す。住宅地に緑あふれる歴史公園を創出することにより、魅力あるまちづくりを推進し、定住促進を図っていく。	計 66,846	計 78,346
★歴史ルートづくり 事業	地域の歴史をテーマにしたストーリーに基づき、エリア内の歴史遺産を整理することにより文化財の保護と活用を図る。平成27年度は高良山エリアについて2件のストーリーを構成するとともに、歴史遺産活用の拠点として史跡や歴史公園等の施設管理や、エリア内の環境整備を進めた。	計 32,845	計 12,762
歴史的建造物保存 整備事業	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存・整備・活用を図り、市民が身近な場所で歴史を感じながら暮らすことのできるまちづくりを推進した。	計 2,742	計 2,001

史跡等環境整備事業	市民が歴史に親しみながら憩う場として、地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、まちづくりの素材としても多くの場面での活用を図った。	計 4,066	計 3,635
坂本繁二郎生家活用事業	久留米城下町に唯一残る武家屋敷である坂本繁二郎の生家（市指定文化財）を保存・活用し、後世へ伝えるための展示会等を実施した。また、重要な地域資源としてPRし、貸室の新規利用者の獲得や他団体主催イベントの会場やコースに使用して頂くなど、多方面で活用することが出来た。	計 463	計 378
文化財保護団体等育成事業	絵画や典籍および彫刻などの有形文化財や、祭りなどの無形文化財の管理および普及活動を行っている団体に対して補助金を交付し、文化財の保護を図った。	計 1,436	計 964

II. 埋蔵文化財調査事業の概要

1. 埋蔵文化財事前確認

27年度の窓口受付件数は637件。内訳は対象外393件、要調査224件である。要調査のうち、設計変更や協議によって調整を図り、工事立会もしくは慎重工事での対応が179件で、発掘調査に至ったのは16件であった。

なお、26年度の8月より、GISを活用した窓口での照会件数もカウントしているが、1日平均で15件程度の問い合わせがある。

「埋蔵文化財包蔵の有無について」の照会件数の推移

年度	受付件数	対象外	要調査	要調査のうち		
				保存調整	発掘調査	未調査
23年度	577件	454件	123件	101	22	0
24年度	516件	351件	165件	115	50	0
25年度	623件	481件	142件	122	18	2
26年度	534件	395件	139件	123	16	8
27年度	637件	393件	224件	179	16	29

*保存調整とは工事立会・慎重工事での対応、未調査には売買を含む。

2. 発掘調査

(1) 発掘調査及び整理作業

平成27年度に実施した発掘調査は以下の通りで、18地点で実施した。26年度からの継続調査が2地点、27年度の調査が16地点である。調査原因は公共の市事業2件、民間受託事業10件、個人住宅等の国庫補助事業6件である。

整理作業については、調査事務所において発掘調査報告書刊行の遺跡の出土遺物の作業を中心に実施。主な作業内容は、遺物の洗浄・復元・実測及び報告書刊行分の埋蔵文化財センターへの搬入前の登録作業である。

調査番号	遺跡名	調査期間	調査面積	担当者
201406	益生田古墳群（第4次調査）	平成26年6月23日～平成27年10月14日	350㎡	熊代
201414	十間屋敷遺跡（第5次調査）	平成27年1月19日～平成27年7月17日	1,183㎡	西・小川原
201501	延命遺跡（第1次調査）	平成27年5月7日～平成27年5月26日	160㎡	小川原
201502	立小路遺跡（第3次調査）	平成27年5月20日～平成27年5月29日	41㎡	廣木
201503	櫛原侍屋敷遺跡（第19次調査）	平成27年6月5日～平成27年8月31日	390㎡	江頭
201504	高三瀧遺跡（第5次調査）	平成27年6月16日～平成27年10月5日	900㎡	小川原
201505	へボノ木遺跡（第72次調査）	平成27年9月24日～平成27年12月10日	480㎡	西

201506	筑後国府跡（第 283 次調査）	平成 27 年 10 月 5 日～平成 27 年 11 月 3 日	248 m ²	廣木
201507	吉木古墳群（第 3 次調査）	平成 27 年 10 月 14 日～平成 27 年 10 月 21 日	300 m ²	神保
201508	櫛原侍屋敷遺跡（第 20 次調査）	平成 27 年 10 月 20 日～平成 27 年 12 月 2 日	200 m ²	江頭
201509	一丁野屋敷遺跡（第 2 次調査）	平成 27 年 11 月 4 日～平成 27 年 12 月 14 日	200 m ²	小川原
201510	庄島侍屋敷遺跡（第 10 次調査）	平成 27 年 12 月 14 日～平成 28 年 3 月 14 日	264 m ²	廣木
201511	久留米城下町遺跡（第 25 次調査）	平成 28 年 1 月 18 日～平成 28 年 2 月 19 日	100 m ²	西
201512	三反田遺跡（第 1 次調査）	平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 3 月 22 日	180 m ²	小川原
201513	久留米城外郭遺跡（第 23 次調査）	平成 28 年 2 月 7 日～平成 28 年 7 月 31 日	1,150 m ²	江頭
201514	隈山古墳群（第 2 次調査）	平成 28 年 2 月 10 日～平成 28 年 2 月 29 日	3,500 m ²	神保
201515	久留米城外郭遺跡（第 24 次調査）	平成 28 年 2 月 25 日～平成 28 年 3 月 11 日	36 m ²	西
201516	筑後国府跡（第 284 次調査）	平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 3 月 16 日	180 m ²	神保

（2）今後の課題

課題としては、現地説明会等の普及事業が時間的制約から確保できないこと、恒常的な調査員不足から調査・整理作業ともに滞っており、民間支援機関の導入・活用を視野に入れる必要がある。

3. 埋蔵文化財センター事業

(1) 平成 27 年度の概要

平成 18 年度から実施している国庫補助事業の「埋蔵文化財保存活用整備事業」については、平成 16 年度の合併以来、旧 4 町（田主丸・北野・三瀧・城島町）の出土品の再整理を行い、活用を図ることを目的としてデータベースを作成する事業を行っていたが、平成 26 年度中に旧 4 町分の整理を終了した。引き続き平成 27 年度より新たに筑後国府跡の調査で得られた資料の収納形態及び検索体系を整え、資料の有効な活用・公開を行うことを目的として、再整理を開始することとした。まずは第 1 期政庁が存在した古宮地区近辺の南・大林地区の出土品の再点検作業を実施した。

また、地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業に伴い、南薫校区コミュニティセンター談話室を会場として、3 月 8 日～同 25 日の期間、南薫校区の歴史を紹介する企画展「南薫の歴史展」を開催、地元への調査成果の普及・啓発・還元に努めた。

主な普及活動としては、8 月 3 日～9 月 6 日の期間に玄関ホールを使用し、六ツ門図書館展示コーナーで開催された平和資料展「少年が見た久留米の戦争」展に関連して、市内に残る戦争関連遺跡の写真パネル、及び発掘調査などで出土した戦争関連資料を展示した。また、10 月 17 日（土）～11 月 15 日（日）を期間として企画展「第 40 回くるめの考古資料展」を開催。今回は「久留米の新発見平成 24～27 年度発掘調査速報」と題し、平成 24 年～26 年度の期間に市内で実施した 36 遺跡 91 ヶ所の発掘調査の中から 17 遺跡の調査成果を公開した。関連事業として、「東北の遺跡を掘って」「久留米城下を探る」と題した 2 回の講演会、発掘担当者によるギャラリートークを 5 回行ったほか、みづま祭り会場において「勾玉づくり」を 2 回実施し、体験活動を通じた普及・啓発を行った。

さらに学校の歴史授業支援のため、児童・生徒に実物資料に触れ、体感してもらうことを目的として、縄文時代～江戸時代の代表的な土器や陶磁器、石器を 1 箱に纏めた貸出キットを 4 セット作成している。

この他、発掘調査および報告書が刊行された遺跡については、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、収蔵している。

(2) 入館者数

平成 27 年度の当センター入館者総数は 2,295 人であった。

入場者数を月別に見ると、10・11 月が突出して多い。この要因は考古資料展が開催されるためである。特に 11 月 8 日（日）は「えーるピアくるめ」を主会場として多くの子どもや保護者が参加する「マナビーランド」が開催され、埋蔵文化財センターもスタンプラリーのチェックポイントの一つとして展示にまつわるクイズに回答しスタンプを受ける方式で参加したことにより、当日だけで 662 名の入場者があった。しかし、マナビーランド事業は例年 1000 名を越す来場者を記録しており、より多くの来場者を埋蔵センターへ導く工夫が必要である。

また、入館者増進のためには、常設展示を工夫し、特に冬季の来館促進を図る必要がある。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	80	74	103	67	111	86	658	853	62	67	78	56	2,295

(3) 資料活用

①資料貸出

学校や地域、さらには学術研究や印刷物掲載にかかる目的で、資料の貸出申請が8件44点においてあり、そのすべてを受付後に許可した。ただし、画像の貸出についてはフィルム現物の館外貸出は控えている。これは、写真資料の保存に重点を置くため、画像はデジタルデータを貸し出すことで理解していただいている。

	期 間	借用申請者	目 的	貸出品名	点数
1	5/28～9/4	有馬記念館	企画展「江戸のふしぎな動物たち」展示のため	雀紋小皿 写真「犬の埋葬状況」 土製犬（5点）	7
2	5/1～3/31	文化庁	「発掘された日本列島 2015」展展示のため	高三瀦遺跡出土品 小銅鐸1点 弥生土器壺1点	2
3	4/22～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	筑後国府跡出土緑釉香炉1点	1
4	5/21～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	石人1点 篠山神社蔵石人頭部1点	2
5	9/29～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	良積遺跡出土方格規矩鳥文鏡、同小型仿製鏡（2点）、寺徳遺跡鏡鏡型、極楽寺1号墳渦文鏡、鷲塚遺跡変形文鏡、西屋敷遺跡小型仿製鏡、日渡遺跡内行花文鏡、へボノ木遺跡鏡片	9
6	11/13～11/16	あきない祭実行委員会	あきない祭「問屋街歴史館」展示のため	城下町遺跡出土陶磁器（碗、徳利、盃、埴塼）、写真パネル	13
7	3/12～5/8	高槻市教育委員会	今城塚古代歴史館特別展展示のため	権現塚古墳出土円筒埴輪（2点）、人物埴輪（2点）、御塚古墳出土新羅系土器（2点）、岩戸山古墳石人、石人頭部	8
8	3/18～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	へボノ木遺跡出土土師器香炉、土師器杯	2
				小計	44

②資料の掲載

当センターの収蔵資料を印刷物に掲載する申請が 11 件 50 点提出された。この申請について全てを許可した。

	申請者	掲載品名	点数	掲載書名・内容
1	有馬記念館	城下町遺跡出土雀紋小皿、写真「犬の埋葬状況」、土製犬（5点）	7	「江戸のふしぎな動物たち」展ポスター・チラシ掲載
2	個人	城下町遺跡出土高野山発給「護符」写真	1	木下浩良著『はじめての「高野山奥之院石塔」入門』に掲載
3	岩村孝平	浦山古墳石室・石棺写真	1	グーグルストリートビュー掲載
4	安武校区公民館	追分古墳出土 玉、石製品写真	2	広報やすたけ掲載
5	国立歴史民俗博物館	正福寺遺跡出土小型編み籠写真	3	歴博フォーラム「さらにわかった！縄文人の植物利用」ポスター・チラシ掲載
6	個人	高三瀨遺跡 小銅鐸	1	個人HP「小銅鐸地名表」掲載
7	株式会社 くもん出版	山川前田遺跡断層写真	1	田所真著『（仮）勇者はなぜ逃げ切れなかったのか - 歴史から考えよう「災害を生き抜く未来」』掲載
8	公益財団法人 日本学術協力財団	筑後国府跡 S D 3856 下層中の噴砂噴出状況写真	1	学術会議叢書 22『地殻災害の軽減と学術・教育』収録、小池伸彦・村田泰輔著「考古学における地殻災害研究の今後」に掲載
9	国立歴史民俗博物館	坂本遺跡・念仏塚遺跡・野瀬塚遺跡・ヘボノ木遺跡出土墨書・刻書土器写真	20	データベースれきはく「古代出土文字資料画像データベース」掲載
10	高槻市教育委員会	御塚権現塚古墳空撮写真3点、権現塚古墳浚渫・参拝風景写真2点、高良山空撮写真1点、権現塚古墳出土人物埴輪写真1点・円筒埴輪写真1点、新羅系土器写真1点	10	今城塚古代歴史館開館5周年記念特別展展示図録、展示、HPへの掲載
11	都城市教育委員会	山川前田遺跡・筑後国府跡の災害痕跡写真	2	都城歴史資料館平成28年度企画展「災害とむきあう人々」にて写真パネル展示
	小計		55	

③資料の閲覧

6件の閲覧申請があり、館内特別閲覧の許可を行なった。

	閲覧者 または 団体名	目的	日付	資料名
1	個人	卒論用資料調査	5/22～9月	良積遺跡出土玉類
2	個人	報告書閲覧	7/24	県内各地の発掘調査報告書
3	個人	個人研究の為の書籍閲覧	5/28	埋蔵文化財調査年報 Vol. 1～10
4	個人	報告書調査	9/28	県内各地の発掘調査報告書
5	個人	修士論文基礎調査	6/25	筑後国府通信他埋蔵文化財センター所蔵の書籍
6	個人	卒業論文作成のための資料調査	10/28～30	正福寺遺跡出土編組製品 (計 60点)

④施設利用

センター内の団体による施設見学・展示案内と解説などは3件であった。

	見学者または団体名	目的	日付	人数
1	西国分小学校	3年生社会科授業	10月23日	37名
2	シティーライントラベル	歴史探訪ツアー	1月20日	31名
3	近つ飛鳥資料館	歴史探訪ツアー	2月16日	50名
合計				117名

(4) 埋蔵文化財保存活用整備事業

平成27年度における国庫補助事業「埋蔵文化財保存活用整備事業」として、筑後国府跡の再整理を実施した。再整理後のコンテナ数は、次のとおりである。

筑後国府跡 (第48次・第62次・第74次・第102次・第114次)

・新規1種遺物収納パンコンテナ総数 18箱

(5) 図書類

◆寄贈図書

報告書・紀要・図録類：1085冊

◆購入図書

定期購読：『考古学ジャーナル』No.654～665 (ニューサイエンス社)

『文化財発掘出土情報』通巻407号～418号 (財団法人日本通信情報センター)

Ⅲ. 文化財保存・整備事業

本年度に係る事業は、美術品の修復1件、民俗文化財保存事業1件、史跡整備事業1件及び天然記念物樹勢回復事業2件を実施している。

1. 有形文化財・民俗文化財

(1) 収蔵資料補修事業

①青木繁・坂本繁二郎絵画襖修復事業

平成27年度の収蔵資料補修事業は、平成24年度より継続して補修事業を行っている「青木繁・坂本繁二郎絵画襖」のうち、「家屋と庭先の図」「山水図」「馬図」の3点について実施した。補修は3点すべて熊本市の富永米山堂へ委託した。

「青木繁・坂本繁二郎絵画襖」は明治42年以降坂本繁二郎生家を所有していた山田家より平成4年に市へ寄贈を受けたもので、坂本家の誰かが描いた襖絵の上に明治42年の春から夏にかけて2ヶ月ほど仮寓していた青木繁が別の絵を描いたと伝わる資料である。

「家屋と庭先の図」は状態が甚だ悪かったため、平成12年度に一度補修を行い、まくりの状態として保管していたが、古い裏打ち紙が残り、補彩も適切でなかった。「山水図」「馬図」は襖の両面に描かれており、破れや汚れが多かった。今回の補修では、「家屋と庭先の図」については、古い裏打ち紙と、現在の裏打ち紙とを除去した。「山水図」「馬図」については、襖を解体し、裏打ち紙と表面に残る古い新聞紙(旧下張り紙)を除去した。3点とも、改めて補修、裏打ちを行い、展示公開に対応できるよう襖絵装に仕立て直すとともに、紙製保存箱を作成して収納保管する修理方針に沿って行った。

(2) 建造物修復事業

①高良大社本殿・幣殿・拝殿屋根葺き換え事業

平成27年度から平成29年度の3ヵ年計画で実施する予定である。初年度である平成27年度は、屋根替え及び修繕方針の確認を行い、9月より事業に着手した。

②旧三島家長屋門壁修復事業

長屋門裏側の土壁が一部、損壊したため、修繕を行っている。応急的な処置であるため、壁の修復には壁土を使用していない。今後、改修を行う際に壁土を使用する予定である。

(3) 民俗文化財関連保存事業

①厨の地藏菩薩彫像板碑保存施設作成設置事業

平成24年度に市指定有形民俗文化財に指定され、東合川町から坂本繁二郎生家へ移設された。生

家では屋外に展示しているため、風雨に曝されている状態にあることから展示可能な状態を保ちながら保護を図るため、覆い屋を設置した。

2. 記念物

(1) 史跡整備事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

平成 27 年度については、久留米市土地開発公社からの買戻しを行った。現在の公有化面積は、32,136.58 m² (実測面積) である。道路等の国、市有地を含めると公有化率は、84.33%となる。国司館地区の大部分が公有されているが、Ⅱ期政庁地区については、宅地が多く、公有化率 60%を下回っているのが現状である。

②史跡下馬場古墳石室内環境調査

調査は石室内に温湿度計を 4 基、石材の表面温度を測る温度計を 8 基、屋外に温湿度計を 1 基設置している。1 年間の温湿度変化を計測して、平成 26 年 9 月下旬から平成 28 年 3 月末までを目処として温湿度調査を実施している。

(2) 名勝・天然記念物保存事業

①県指定天然記念物「味水御井神社のクロガネモチ」撤去事業

平成 24 年 6 月 19 日未明に発生した「味水御井神社のクロガネモチ」の回復措置を行ったが、枯死したことが確認された。平成 27 年 4 月から撤去作業を行い、県指定が解除された。



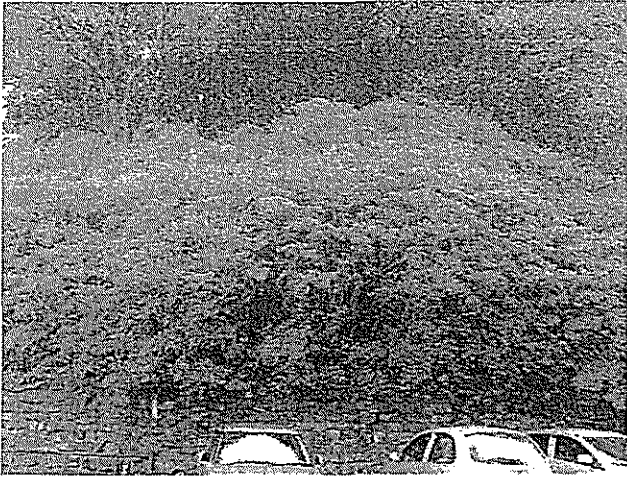
撤去前の状況



伐採の状況 (その後、撤去)

②市指定天然記念物「高良大社のツツジ」樹勢回復事業

近年、ツツジの色付きが不良であるため、枝の剪定、施肥を行う事業を補助している。作業は 9 月上旬に開始し、1 週間程度で終了した。



③県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

例年1月下旬に実施しており、本年度は1月27日に地元である柳坂自治会、県立筑水高校が剪定作業を行い、文化財保護課が剪定枝の回収及び廃棄を担当した。

IV. 文化財管理事業

1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、15団体の事業へ補助金を交付している。

(1) 文化財保護団体

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ・鬼夜保存会 | 重要無形民俗文化財「鬼夜」管理団体 |
| ・花火動乱蜂保存会 | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体 |
| ・北野天満神社神幸行事保存会 | 県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体 |
| ・草野風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸祭」管理団体 |
| ・若宮八幡宮神幸祭実行委員会 | 市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮神幸祭」管理団体 |
| ・八丁島の御供納 | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体 |
| ・御井町風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体 |
| ・満月会保存会 | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体 |
| ・高良山同志会 | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体 |
| ・特定非営利活動法人ヒナモロコ里親会 | 市指定天然記念物「ヒナモロコ」保護活動団体 |
| ・NPO法人ヒナモロコ郷づくりの会 | 市指定天然記念物「ヒナモロコ」保護活動団体 |

(2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体

- ・高良山の緑と史跡を守る会
- ・久留米郷土研究会
- ・山川校区郷土研究会
- ・田主丸郷土会

2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を4団体、2名に管理委託し、史跡2箇所の草刈りについては、指名競争入札により業者へ委託している。

(1) 指定文化財の管理業務

- | | | | |
|----------|---------------|------------------------|----------|
| ・浦山古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の応対 | 成田山久留米分院 |
| ・下馬場古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の応対 | 個人 |
| | | (平成26年度から環境調査のため見学停止中) | |
| ・高良山神籠石 | 国指定史跡 | 高良山神籠石の清掃、見回り点検 | 高良大社 |
| ・日輪寺古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の応対 | 日輪寺 |
| ・大善寺旧庫裡 | 市指定有形文化財(建造物) | 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検 | 個人 |
| ・目安町の一里塚 | 市指定史跡天然記念物 | 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 | 目安町自治会 |

- ・筑後国府跡 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 委託
- ・安国寺甕棺墓群 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 委託

(2) 歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）の石浦大橋を含むおおはし歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚権現塚史跡の広場 国指定史跡 御塚古墳、権現塚古墳と公園敷地内の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡 田主丸大塚古墳と歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

3. 防犯・防災事業

(1) 文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。本年においては、須佐能袁神社が主催して防火訓練が実施される予定であったが、当日の積雪のため、中止された。

日 時：平成28年1月24日（日）9時30分～11時00分

場 所：須佐能袁神社（久留米市草野町）

主 催：須佐能袁神社

参加者：須佐能袁神社 氏子総代 久留米広域消防本部善導寺消防署、消防分団、久留米市

(2) 防災施設設置及び管理事業

重要文化財「木造阿弥陀如来立像」を所有する無量寺が、火災報知機等の防災施設を設置するため、補助金を交付した。その他、例年同様、防災施設の管理に関する補助金を交付している。

- ・高良大社所蔵文化財 重要有形文化財、県指定文化財各種 管理に対する補助金 高良大社
- ・善導寺所蔵文化財 重要有形文化財、県指定文化財各種 管理に対する補助金 善導寺
- ・木造阿弥陀如来立像 重要有形文化財 管理に対する補助金 専念寺
- ・木造阿弥陀如来立像 重要有形文化財 管理に対する補助金 無量寺
- ・上野家住宅御成間 県指定有形文化財 管理に対する補助金 個人
- ・鹿毛家住宅 県指定有形文化財 管理に対する補助金 個人
- ・須佐能袁神社本殿・拝殿・楼門 県指定有形文化財 管理に対する補助金 須佐能袁神社
- ・地藏来迎図板碑 県指定有形文化財 管理に対する補助金 国分寺

この他、福岡県文化財保護課が実施した文化財の防犯に関する調査結果を指定文化財所有者へ配布し、注意喚起を行った。

V. 歴史博物館整備検討事業

昭和 58 年（1983）4 月に設置した久留米文化財収蔵館を中心に、博物館資料の調査・収集・保存・活用を進めている。

資料の収集は、寄贈 20 件（188 点）、寄託 1 件、購入 2 件、移管 0 件、採集 6 件であった。

資料の活用は、貸出 18 件（263 点）、印刷物掲載等 69 件（390 点）、これ以外に研究利用等を目的とした閲覧や写真撮影 23 件（160 点）にも対応している。また、展示公開については、平成 22 年 10 月に開館した久留米市立六ツ門図書館展示コーナーを会場に、文化財保護課主催 3 回、都市建設部防災対策課 1 回、協働推進部人権啓発センター 3 回、計 7 回の企画展を開催した（VI-1-（1）42 頁参照）。

1. 資料の収集・保存

（1）収集

①寄贈

資料名	時代	寄贈者	数量(点)
農耕図	明治時代カ	岸副尚	1
高山彦九郎書	江戸時代	(公財)高山彦九郎 先生史蹟顕彰会	2
羽織(松木家家紋入り)	江戸末期～明治	大賀トシ子	1
昭和五年内閣国勢調査バッジ、特別 愛国婦人会会員章	昭和戦前期	青木照夫	2
九州医学専門学校開校記念文鎮	昭和 7 年	青木照夫	1
昭和 10 年久留米大水写真他	昭和戦前～戦後期	野田宣隆	13
「日露戦役 旅順の戦蹟」印刷物(封 筒入り)	明治 37・38 年頃	野口勝司	1
「日露戦役 満州軍総司令官一行出 征記念」写真、軍事郵便	明治～昭和 18 年頃	匿名	10
軍事郵便、日米移民使用算盤他	大正～昭和 28 年	匿名	10
竹村家資料(第3次)	昭和 17～平成	竹村逸彦	13
紙芝居「二つの弾片」	平成 24 年	橋本日出代	1
古川家資料(第3次)	大正～昭和	古川恒行	14
竹村家資料(第4次)	昭和戦前期	竹村逸彦	4

戦時中絵葉書一式	昭和戦前期	小柳満	81
昭和 40 年代ホーロー看板	昭和 40 年代	馬場マサミ	3
かや・伸子張りほか	大正～平成	近澤康治	17
文集「戦争を知らない子供たちへ」他	昭和戦前～戦後期	中島淑子	11
氷冷蔵庫	昭和 26 年	田中定	1
消火弾	昭和戦前期	中村一恵	1
一般用米穀類購入通帳	昭和 44 年	児玉玲子	1

②寄託

資料名	時代	寄託者	数量(点)
名字状	江戸時代	菊池武澄	1

③購入

資料名	時代	数量(点)
不破美作書状	江戸時代	9
坂本繁二郎版画「馬三題 2」	昭和 26 年	1

④移管

資料名	時代	原課	数量(点)
(該当物件なし)			

⑤採集

資料名	時代	数量(点)
昭和 52 年「久留米魅力マップ」作成資料	昭和 52 年	6
宮本高等小学校出席簿他	明治 18～大正 4 年	7
久留米耕技術保存会旧所管印刷物他	昭和 35～平成 9 年	19
硬貨枡、薬瓶、昭和 50 年代カラーテレビ	近代～現代	4
月星靴他	昭和戦後期	3
戦前郵便はがき「入営のごあいさつ」	昭和戦前期	1

⑥刊行物

- ・ 寄贈図書：124 冊
- ・ 定期購読：24 冊

『月刊文化財』No.619～630 (第一法規株式会社)

『博物館研究』Vol.50・No.4～Vol.51・No.3 (公益財団法人 日本博物館協会)

(2) 保存

① 燻蒸

期間：平成 27 年 8 月 1 日～2 日

場所：南町文化財収蔵庫（久留米市南一丁目 8 番 1 号）

薬剤等：D-D-T シフェノトリン液化炭酸ガス殺虫剤（商品名：ミラクンGX）を使用し、4 時間の密閉噴霧簡易燻蒸を実施。

※収蔵資料の補修については、IV-1-(1) 参照

2. 資料の活用

(1) 貸出

期間	機関名	目的	資料名等	点数
4 月 1 日～ 3 月 31 日	久留米市人権啓発センター	人権啓発センター常設展示室で展示	太鼓	1
5 月 21 日～ 3 月 31 日	九州国立博物館	文化交流展平常展で展示	石人頭部、石人、家形埴輪	3
5 月 29 日～ 9 月 3 日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「江戸のふしぎな動物たち」で展示	版画他	78
8 月 20 日～ 12 月 20 日	長崎歴史文化博物館	「国際都市・長崎からみたドイツ」で展示	ドイツ捕虜関係資料	15
9 月 14 日～ 11 月 20 日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「大名有馬家名品展」で展示	徳川家康御内書他	9
7 月 15 日	個人	久留米空襲体験に関する FBS 取材のため	久留米空襲爆弾片他	4
7 月 21 日～ 8 月 15 日	三潴総合支所環境建設課	国土調査前後の地図調査のため	旧字図(高三潴)	3
7 月 22 日	江南中学校	平和授業のため	久留米空襲爆弾片他	9
8 月 5 日～ 6 日	御井小学校	平和授業のため	久留米空襲爆弾片他	10
10 月 13 日～ 30 日	屏水中学校	社会科教材として	ちきり(竿秤)他	4
10 月 14 日～ 15 日	金丸小学校	平和学習の講話で使用	雑のう他	8

10月22日～ 27日	福岡教育大学附属中 学校	文化祭生徒会展示のため	「中学修身一」他	10
10月27日～ 12月1日	八女市	坂本繁二郎資料室特別展で展 示	坂本繁二郎関係資料	16
11月20日～ 1月29日	公益財団法人有馬記 念館保存会	企画展「久留米藩の参勤交代」 で展示	参勤交代関係資料	30
1月27日～ 4月15日	公益財団法人有馬記 念館保存会	企画展「おひなさまとミニチュア のお道具」で展示	ひな道具一式	58
12月17日～ 1月28日	協働推進部地域コミ ュニティ課	足形池の所有者を確定するた めの資料として	一筆竿入帳(国分)他	3
2月17日～ 24日	福岡県退職教職員協 会	平和のつどいのイベントで使用	防空頭巾	1
3月4日～ 22日	公益財団法人久留米 文化振興会	石橋文化センター開園60周年 記念事業「悲劇の天才画家 青 木繁」劇中で使用	大八車	1

263

(2) 印刷物掲載等

申請許可日	機関名	掲載誌等	資料名等	点数
4月7日	株式会社日本経済 広告社九州支社	マンション販売におけるパンフレット等 に使用	写真「新久留米市 庁舎」他	9
4月6日	NHK久留米報道室	報道に使用	三勇士図他	3
4月17日	朝日新聞出版生活 文化編集部	「週刊マンガ日本史」59号「杉田玄白」 中に使用	弓曳き童子	1
4月20日	読売新聞大阪本社 社会部	読売新聞の紙面およびウェブサイト に使用	田中久重夫妻ガ ラス湿版	1
5月12日	関西テレビ放送報 道局報道センター	関西テレビ制作ドキュメンタリー番組に 使用	爆弾三勇絵葉書 他	4
5月8日	読売新聞大阪本社 社会部	読売新聞大阪本社の紙面およびウエ ブサイトに使用	弓曳き童子	1
6月2日	おとななテレビ制作 部	TVQ九州放送「土曜の夜は！おとなな テレビ」に使用	写真「櫛原尋常小 学校」他	4
5月26日	株式会社オルタス ジャパン	NHKBS プレミアム「CATV ネットワー ク」内で使用	若宮八幡宮縁起2 幅	2

4月2日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「江戸のふしぎな動物たち」にかかる広報印刷物	版画等	78
6月10日	個人	『宮本達夫論文集』に収録	久留米市の歴史的建造物	7
6月23日	長崎歴史文化博物館	「国際都市・長崎からみたドイツ」にかかる展示制作物等	ドイツ捕虜関係資料	33
7月8日	公益財団法人有馬記念館保存会	「大名有馬家名品展」に使用	徳川家康御内書他	9
7月1日	西日本新聞	西日本新聞紙面に使用(平和資料展紹介)	「馬場皓」名刺	1
7月21日	ビーグ有限会社	福岡県商工会連合会発行カレンダーに使用	写真「大刀洗陸軍飛行場」他	2
7月17日	久留米市観光案内所	ブログ掲載	平和資料展展示資料(千人針他)	3
7月21日	RKB 毎日放送	RKB「豆ごはん。」にて久留米市の木村屋の歴史紹介に使用	ドイツ兵久留米俘虜収容所写真	1
7月24日	TBS テレビ	「ニュースキャスター」に使用	弓曳き童子、田中久重夫妻ガラス湿板	2
7月23日	株式会社 NEXTEP	BS フジ「プライムニュース」VTR内での使用	田中久重写真他	3
7月27日	東芝未来科学館	「からくり儀右衛門一代記双六」に使用(季刊「理科の探検」2015年秋号)	写真「久留米餅」他	5
7月31日	個人	地元郷土史本作成のため	筑後川絵図	1
7月31日	FBS 福岡放送	「NEWSめんたい Plus」内で使用	爆弾片他	4
8月5日	ザ・ハフントン・ポスト・ジャパン	ニュースサイト「ハフントン・ポスト日本版」戦後70年特集記事に使用	竹村逸彦氏「軍国少年日記」	1
8月10日	NHK 福岡放送	「ロクイチふくおか」でのレポート制作	竹村逸彦氏「軍国少年日記」他	3
8月13日	東京大学史料編纂所	同所附属画像史料解析センター古写真研究プロジェクトにおける調査のため	田中久重夫妻ガラス湿板、久留米城ガラス湿板	2

8月13日	共同通信社福岡支社	報道に使用	竹村逸彦氏「軍国少年日記」	1
8月13日	毎日新聞久留米支局	紙面掲載のため	爆弾三勇士関連遺品	9
8月10日	朝日新聞久留米支局	紙面及びデジタル版への掲載	久留米空襲爆弾破片	2
8月10日	朝日新聞久留米支局	紙面及びデジタル版への掲載	空襲予告のビラ (竹村逸彦氏旧蔵)	1
8月20日	株式会社ハイマート久留米	「キッズちゃれんじ」での展示使用	写真「旭屋前」他	3
8月21日	株式会社CRCCメディア	テレビ広報くもでの使用	竹村逸彦氏「軍国少年日記」	1
8月28日	個人	「九州南北朝争乱」(書名)の表紙に使用	筑後川合戦図	1
9月1日	株式会社想庵	グリーンハウス株式会社社会報誌に使用	弓曳き童子、雲龍水、無尽灯	3
9月17日	株式会社西日本新聞メディアラボ	KBC テレビ「発見!九州スピリット」(八女福島の燈籠人形編)に使用	五穀神社御祭礼/ つくし物細見之図	1
9月24日	個人	中世文学会での口頭発表のため	合戦絵巻	1
9月24日	個人	著書への掲載	筑後川絵図	1
9月24日	大善寺小学校	「戦後70年 大善寺小学校 平和への願い」に使用	写真「祈願祭」(昭和18年)他	5
10月2日	第48回明善大同窓会	第48回明善大同窓会のパンフレットに使用	写真「本町ロータリー」「市役所」	2
10月2日	日本テレビ放送網株式会社	日本テレビ「スッキリ!!」にて使用	弓曳き童子他	5
10月16日	個人	Facebook への掲載	「みんなの特撮ヒーロー展」会場写真	1
10月16日	個人	Facebook への掲載	「みんなの特撮ヒーロー展」会場動画	1

10月16日	久留米市観光案内所	ブログへの掲載	「みんなの特撮ヒーロー展」会場写真	1
10月15日	石橋美術館	「花美術館」の「特集 坂本繁二郎」に使用	坂本繁二郎 権藤千之助宛書簡	1
10月15日	株式会社エー・ピー・シー・リブラ	朝日放送「西川きよしのおしゃべりあるき目です」において使用	田中久重夫妻ガラス湿版	1
10月20日	個人	ツイッターへの掲載	「みんなの特撮ヒーロー展」会場写真	0
10月19日	開隆堂出版株式会社	「アクティブラーニングで深める技術科教育」に使用	弓曳き童子、無尽灯、ねじ切りゲージ	3
10月26日	有限会社三猿舎	「江戸 300 藩物語藩史《九州篇》」に使用	写真「明治6年頃の久留米城」他	3
10月21日	株式会社ピーアールハウス	広告制作(ウェブサイト)に使用	田中久重夫妻ガラス湿版他	4
10月30日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「久留米藩の参勤交代」にかかる広報印刷物	参勤交代関係資料	31
11月5日	小郡市教育委員会文化財課	クロスロードに伴う鳥栖・小郡史跡ハイキング事前学習会に使用	筑後川絵図	1
11月18日	株式会社CRCCメディア	くーみんテレビ番組内で使用(ドイツ兵ゆかりの地巡りバスツアー)	写真「中央広場演奏会場風景」他	9
11月16日	国立研究開発法人科学技術振興機構研究プロジェクト推進部	世界ロボット会議基調講演に使用	弓曳き童子	1
11月26日	関西テレビ報道センター	ドキュメンタリー「軍神」に使用	肉弾三勇士はがき他	3
12月2日	株式会社ドリームキングダム編集部	「忘却の日本史 九州篇」第3号に使用	写真「明治6年頃の久留米城」他	11
12月7日	東京都教育庁指導部義務教育指導課	東京都道徳教育教材集中学校版の伝統文化理解に係る掲載のため	弓曳き童子	1

12月14日	明善高等学校	からくり儀右衛門オーディオピクチャー 製作のため	弓曳き童子他	7
12月22日	公益財団法人有馬 記念館保存会	企画展「おひなさまとミニチュアのお道 具」にかかる広報印刷物	ひな道具他	58
12月14日	久留米市観光案内 所	ブログ掲載	「むかしのくらし 展」会場写真	5
12月22日	九州朝日放送株式 会社報道局報道部	「ニュースピア」放送	ドイツ俘虜収容所 関係写真	9
12月28日	佐賀市	「明治日本の産業革命遺産」を Google Cultural Institute 上で公開	田中久重夫妻ガ ラス湿版	1
1月5日	シー・キヤド株式会 社庄内支社	「中野浩一還暦特別番組」に使用	競輪関係資料	6
12月22日	株式会社放送映画 製作所	MBS 特別番組「1万人の第九」に使用	写真「久留米高女 でのドイツ捕虜に よる演奏会」	1
1月13日	株式会社天夢人	週刊「ビジュアル江戸三百藩」に使用	写真「明治6年頃 の久留米城」他	2
1月14日	株式会社廣濟堂出 版	「わが藩のお国自慢対決(福岡県)」に 使用	写真「明治6年頃 の久留米城」	1
1月19日	個人	大牟田の空襲を記録する会「大牟田の 空襲」第28集に使用	坂宗一の画「大牟 田松や」	1
2月25日	株式会社オカモト 商店	第10回国際絞り会議参考資料	久留米緋関係古 写真	7
2月29日	日田市立博物館	日田市立博物館のリニューアルに伴う 映像やパネル	筑後川絵図	1
3月1日	株式会社ベースポ ールマガジン社相 撲編集部	日本相撲協会機関紙「相撲」に掲載	小野川才助化粧 回し展示写真	1
3月10日	水天宮(東京)	水天宮新社殿造替「記念写真冊子」に 使用	写真「明治6年頃 の久留米城」	1
3月24日	攻城団プロジェクト	攻城団ウェブサイトを使用	久留米市歴史散 歩No.12	1

このほか撮影のみ 22 件(158 点)

計 390

VI. 文化財の活用・周知普及

1. 公開・活用事業

(1) 久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

平成 22 年 10 月、久留米市立中央図書館西分館が「くるめりあ六ツ門」5階に移転し、六ツ門図書館として開館した。この館内に展示コーナーが設置され、当課が運営を担当している。

同展示コーナーは、100 m²を常設展、168 m²を企画展のスペースとする。常設展は、造り付けの居間及び台所に、家具や生活用品などを揃えて、昭和 30 年代の暮らしの風景を再現している。企画展は、平成 27 年度は当課主催 4 回、他部局主催 4 回を開催した。

平成 27 年度企画展一覧

No.	展示会名	会期	来場者数(人)
1	防災展	4月3日～5月6日	831
2	暮らしの中の人権展Ⅰ	5月13日～5月31日	255
3	暮らしの中の人権展Ⅱ	6月3日～6月21日	283
4	戦後70年平和資料展 少年が見た久留米の戦争	7月4日～9月6日	6,695
5	からくり儀右衛門大賞作品展	9月12日～9月19日	331
6	みんなの特撮ヒーロー —戦後日本の大衆文化—	9月19日～11月29日	3,939
7	むかしのくらし展—学校のたからもの—	12月12日～3月6日	6,317
8	人権ポスター展	3月12日～4月10日	500
9	常設展示のみ		283

合計 19,434 人

* 主催は、1 都市建設部防災対策課、2～3・8 協働推進部人権啓発センター、4～7・9 文化財保護課

* 常設展示「昭和 30 年代のくらし」（上記企画展の会期以外）

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

①企画展

- ・第40回くるめの考古資料展「久留米の新発見 平成24～26年度発掘調査速報」

会 場：久留米市埋蔵文化財センター

期 間：平成27年10月17日（土）～11月15日（日）

内 容：平成24～26年度の期間に、久留米市内で行われた36遺跡91ヶ所の発掘調査から、新たな発見があった遺跡を中心に17遺跡の調査成果を公開。関連イベントとして2回の講演会、発掘担当者によるギャラリートーク5回、勾玉作り体験2回を実施。

見学者数：1,447名

- ・南薫の遺跡展

会 場：南薫校区コミュニティセンター

期 間：平成28年3月8日（月）～3月25日（金）

見学者数：140名

②体験イベント

- ・考古資料展関連イベント

◆歴史講座 ①「東北の遺跡を掘って」 ②「久留米城下を掘る」

会 場：サンライフ久留米2階大会議室

日 時：①平成27年10月18日（日） ②平成28年11月1日（日）13:00～14:30

参加者：①19名 ②29名

◆「ギャラリートーク」

会 場：埋蔵文化財センター

日 時：会期中毎週土曜日 14:00～14:20

参加者：（各回）1～6名

- ・協賛イベント

◆『みづま祭り』—勾玉をつくろう—

会 場：水沼の里2000年記念の森公園

期 日：平成27年11月7日（土）・8日（日）

内 容：古代体験、勾玉づくり

参加者数：140名

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であるのと同時に久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性を検討して平成 15 年 7 月に久留米市有形文化財（建造物）に指定された。平成 18 年度から平成 21 年度までの 4 年間をかけて修理復原工事を行い、平成 22 年 5 月 1 日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な企画展や体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

◆年間来場者数：6,639 名（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

◆開館日数：307 日 1 日平均来場者数：22 人（小数点以下四捨五入）

<企画展>

坂本繁二郎 版画展	期間：平成 27 年 4 月 25 日（土）～6 月 14 日（日） 内容：坂本繁二郎の版画作品展	807 名
坂本繁二郎 写真展	期間：平成 27 年 10 月 27 日（火）～12 月 13 日（金） 内容：坂本繁二郎自身を写した写真展	670 名

<季節行事>

七夕まつり	期間：平成 27 年 7 月 1 日（水）～8 月 2 日（日） 対象：一般 入場料：通常通り（短冊を飾りに来た場合は無料） 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る。	359 名
ひなまつり	日時：平成 28 年 2 月 2 日（火）～4 月 3 日（日） 対象：一般 入場料：通常通り 内容：坂本家に伝わる雛人形を展示し、期間中に体験事業・生誕記念コンサート・お茶会を実施。	1,472 名

<お茶会>

お茶を楽しむ会	日時：平成 26 年 3 月 21 日（月、祝）10 時～15 時 主催：江戸千家久留米不白会 共催：文化財保護課 対象：一般 茶券：一般 500 円、中学生以下 300 円 ※入場料（団体料金）を含む。	140 名
---------	--	-------

<ミニコンサート>

七夕ナイト	日時：平成 27 年 7 月 25 日（土）19 時～21 時 演者：代表 松本 久実子 氏（京泉会） 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：生家の庭を竹燈籠とペットボトルキャンドルで彩る。 19 時 30 分から一時間程度、大正琴の演奏を行う。	150 名
-------	--	-------

生誕記念 コンサート	日時：平成28年3月12日（土） 演者：代表 壇 遼 氏（どんでばもす） 対象：一般 入場料・参加費：無料	74名
---------------	---	-----

<体験事業>

茶レンジ！ こども茶会♪	日時：平成27年6月28日（土）10時～12時 講師：西村 宗尚 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：お茶の作法について先生から学ぶ。	46名
流しそうめんを食 べよう♪	日時：平成27年8月22日（土）10時～12時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：青竹で箸と器を作って、地元住民と一緒に流しそうめんを 食べて楽しむ。	95名
画伯に チャレンジ！	日時：平成27年11月28日（日）10時～15時 講師：宇美 拓哉 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：生家・庭の中からテーマを決めて絵を描く。	24名
餅つき大会♪	日時：平成27年12月19日（土）10時～12時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：地元住民とともに、餅つきをして、ついた餅を食べる。	82名
折り紙で雛人形を 作ろう♪	日時：平成28年2月13日（土）13時30分～15時30分 講師：関根 千鶴子 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：折り紙で雛人形を作る。	21名

<落語>

素人落語寄席	日時：平成28年1月16日（土）13時30分～15時30分 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：久留米落語長屋による寄席	65名
--------	--	-----

(4) 歴史探訪

平成27年度は、平成22年5月1日に開館した坂本繁二郎生家の5周年ということで、「坂本繁二郎をしのぶ歴史探訪」と題して、坂本に縁のある土地や施設を巡った。

- ・期日 平成27年11月15日(日) ・参加者 25名(男性4名、女性21名)
- ・参加費 1,200円(昼食代として)

～行程～

時間	内容	場所
09:00～09:10	集合・受付	市役所東口(両替町公園)
09:10～09:15	移動(徒歩)	集合場所 → 久留米市役所 市民駐車場裏手(バス待機場所)
09:15～09:20	移動(バス)	市役所駐車場裏手(バス待機場所) → 坂本繁二郎生家専用駐車場
09:20～09:50	企画展 見学	坂本繁二郎生家
09:50～10:10	移動(バス)	坂本繁二郎生家専用駐車場(バス待機) → 石橋文化センター
10:10～11:10	見学	坂本繁二郎アトリエ 石橋美術館『二科100年展』
11:10～12:00	移動	石橋文化センター → メモリアルホールいわ井
12:00～12:45	昼食	メモリアルホールいわ井(八女市津江599)
12:45～13:00	移動	メモリアルホールいわ井 → 八女市役所(駐車場) → 八女市図書館
13:00～13:40	説明・見学	坂本繁二郎資料室(図書館2階)
13:40～14:00	移動・見学	八女市図書館 → 八女公園寿像見学 → 八女市役所(駐車場)
14:00～15:50	移動・見学	旧居見学 → アトリエ跡地見学 → 旧居隣接駐車場
15:50～16:15	移動(バス)	無量寿院(納骨堂・筆塚) → 伝統工芸館(トイレ休憩)
16:15～16:50	移動(バス)	伝統工芸館 → 久留米市役所 市民駐車場裏手
16:50～17:00	事務伝達・解散	今後の事業案内等

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として実施している「出前講座」は、全庁的に取組んでいる制度で、文化財保護課では「私のまちの歴史と文化財」「歴史を体験」の2つのメニューを受け持っている。

① 私のまちの歴史と文化財

開催回数：31回

受講人数：696名

主な内容：校区コミュニティセンター主催の講座や市民団体、学校を中心に、校区の歴史、久留米市の歴史、またテーマを設けて講座を開催。

② 歴史を体験

開催回数：8回

受講人数：246名

主な内容：小学校や校区コミュニティセンターにおいて、火起こし・勾玉作り・石臼によるきな粉作りなどの体験学習を開催。

(2) 実習受け入れ

27年度は学芸員実習および看護実習の受け入れは実施せず。

3. 刊行物

(1) 久留米市文化財調査報告書

9冊の文化財調査報告書、および平成25年度分の文化財保護課年報を刊行

第361集 『南薫西遺跡 - 第8次調査 - 』 平成27年9月

第362集 『筑後国府跡 - 第282次調査 - 』 平成27年10月

第363集 『十間屋敷遺跡 - 第4次調査 - 』 平成27年12月

第364集 『水分遺跡 - 第5次調査、第7次調査遺物編 - 』 平成28年3月

第365集 『櫛原侍屋敷遺跡 - 第19次調査 - 』 平成28年3月

第366集 『十間屋敷遺跡 - 第5次調査 - 』 平成28年3月

第367集 『一丁野屋敷遺跡』 平成28年3月

第368集 『平成27年度久留米市内遺跡群』 平成28年3月

第369集 『久留米市埋蔵文化財集報XVI』 平成28年3月

久留米市文化財保護課年報 vol. 11『平成25年度版』 平成28年3月

(2) その他の刊行物

①歴史散歩

久留米市では、市民向けに郷土の文化財を解説する冊子を作成している。本年度は、久留米空襲に関する展示を行ったことからNo.41として『平和への祈り 久留米の戦争遺跡(3)～久留米空襲編～』を刊行した。また、No.16の『三島家長屋門』の在庫が無くなったため、これを改訂した。

②文化財マップ

文化財マップは、小学校校区毎の文化財の位置と解説を入れたもので、本年度は、上津校区の文化財マップを作成した。

③収蔵館ニュース

久留米市文化財収蔵資料の調査・収集・保存・活用について紹介するため、平成元年度より年1回発行。同17年度に『仮称 久留米歴史博物館準備だより』より改題。平成27年度は第12号を発行(改題通算38号)。

(3) 文化財説明板作成設置

本年度は「あげ舟」、「柳坂曾根の櫛並木」、「武田東山先生の墓碑」、「旧市庁舎部材」の文化財説明板の説明板等を作成設置した。

○県指定有形民俗文化財「あげ舟」・・・説明板が古くなっていたため、文章を見直して改修した。

○県指定天然記念物「柳坂曾根の櫛並木」・・・平成26年度に破損したため、新規に設置した。

○「武田東山先生の墓碑」・・・古くなり破損したため、新たに設置した。

○「旧庁舎部材」・・・旧市役所庁舎の部材を宮ノ陣クリーンセンターで再利用したので、部材の来歴について解説する説明板を設置した。

Ⅶ. 協議会・研修会派遣

1. 協議会

(1) 全国史跡整備市町村協議会

○事務局 国分寺市（東京都）

○加盟市町村数 517市町村（400市、151町、16村）平成27年10月7日現在

①第50回全国史跡整備市町村協議会高岡大会

開催日：平成27年10月7日（水）～9日（金）

開催場所：ホテルニューオータニ高岡（富山県高岡市）

第50回記念大会シンポジウム「全国の遺跡の整備と活用を考える」

黒崎 直 氏（大阪府弥生文化博物館長）

パネルディスカッション

テーマ「地域の中の文化財 - 記念物・文化的景観の保存活用の今後を見据えて -」

コーディネーター 佐藤 正知 氏（文化庁主任文化財調査官）

パネリスト 田中 哲雄 氏（日本城郭研究センター名誉館長）

増淵 徹 氏（京都橋大学教授）

黒崎 直 氏（大阪府弥生文化博物館長）

事例発表 菅原 弘樹 氏（奥松島縄文村歴史資料館）

田中 大輔 氏（南アルプス市教育委員会）

城戸 康利 氏（太宰府市教育部）

②臨時大会

開催日：平成27年11月12日（木）

開催場所：ホテルニューオオタニ（東京都千代田区）

※久留米市は、福岡県市町村文化財保存協議会事務局として参加

(2) 全国公立埋文センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議

○幹事：山口県埋蔵文化財センター（中・四国）、鹿児島県埋蔵文化財センター（九州）

○加盟団体：21団体（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、井原市、岡山市、倉敷市、津山市、東広島市、福岡市、北九州市、小郡市、久留米市、松浦市、宮崎市）

開催日：平成27年10月8日（木）～9日（金）

開催場所：宮崎市民プラザ4階中会議室（宮崎市橘通西1丁目1-2）

協議事項：「普及啓発事業における学校教育との連携について」等15の議題を協議

視察地：生目古墳群史跡公園、生目の杜遊古館、史跡穆佐城跡

(3) 第5回古代山城サミット基山大会

○事務局：基山町教育委員会

○加盟市町村数：31市町（平成27年4月1日現在）

開催日：平成27年10月2日（金）～3日（土）

開催場所：基山町民会館

開会行事、基肆城跡等現地見学会、自治体首長会議

記念講演：「古代山城を活かしたまちづくり」佐藤 正知 氏（文化庁主任文化財調査官）

基山町立小中学校合同創作劇「こころつないで～基肆城に秘められたおもい～」

閉会行事

(4) 九州地区市町村文化財保存整備協議会

○事務局 福岡市

○加盟市町村数 83市町村（58市、24町、1村）平成27年4月1日現在

①総会

開催日：平成27年7月29日（木）～30日（金）

開催場所：宗像ユリックス（福岡県宗像市）

議 事：総会決議

講 話：「近代遺跡の保存について」五島 昌也 氏（文化庁記念物課整備部門）

研究協議：「宗像市の世界遺産登録活動」岡 崇 氏（宗像市世界遺産登録推進室）

「田熊石畑遺跡の整備事業」白木 英敏 氏（宗像市郷土文化課文化財係）

視察研修：田熊石畑遺跡歴史公園、宗像大社、宗像大社神宝館、海の駅むなかた館

(5) 福岡縣市町村文化財保存整備協議会

○事務局 久留米市

○加盟市町村数 52市町村（27市、24町、1村）平成27年3月31日現在

①総会

開催日：平成27年5月29日（金）

開催場所：大野城まどかぴあ（大野城市）

議 事：第1号議案 平成26年度事業及び決算報告

第2号議案 役員の改選について

第3号議案 役員の承認について

第4号議案 平成27年度事業計画及び予算（案）

第5号議案 次期総会開催地の決定について

記念講演：青木 達司 氏（文化庁文化財部記念物課文化財調査官）

記念シンポジウム

テーマ「文化財の未来へのつながりとひろがりを考える」

コーディネーター：見城 俊昭（大野城市教育委員会 教育部長）

パネリスト：徳永 淳（宗像市経営企画部企画課世界遺産登録推進室長）

宮井 善朗（福岡市経済観光部局大規模史跡整備推進課長）

城戸 康利（太宰府市教育委員会文化財課 副課長）

視察研修 特別史跡 水城跡

②研修会

開催日：平成27年11月13日（金） 10時～16時30分

開催場所：福岡県吉塚合同庁舎 702会議室

研修内容：遺跡写真のデジタル化と撮影法、ライティングの基礎とデジタル撮影、
写真画像の処理と保管

講師 中村 一郎 氏（独立行政法人 奈良文化財研究所）

（6）福岡県装飾古墳保存連絡協議会

○事務局 桂川町教育委員会（王塚古墳装飾古墳館）

○加盟市町村

①平成27年度研修会

開催日：平成27年7月10日（金）

開催場所：飯塚市歴史資料館（飯塚市）

事例報告：「装飾古墳におけるデジタルデータの計測」

「装飾古墳におけるデジタルデータの活用」

現地見学：飯塚市歴史資料館、川島古墳公園

（7）北筑後文化財行政連絡協議会

○事務局 久留米市

○加盟市町村 朝倉市、うきは市、小郡市、久留米市、大刀洗町、筑前町、東峰村

①総会

開催日：平成27年5月22日（金）

開催場所：北筑後教育事務所（久留米市）

②北筑後文化財フェスタ

事業名：北筑後の戦跡を巡る

開催日：平成27年9月5日（土） 9時30分から16時

見学コース：「少年が見た久留米の戦争」展見学（六ツ門図書館展示コーナー）→陸軍墓地（久留米市野中町）→大刀洗飛行場（筑前町）

内容：戦後70周年の節目に、北筑後に残る戦跡を巡るバスツアーを実施。

- ③筑後川流域装飾古墳同時公開 平成27年10月19日(土) 9時から16時30分
公開古墳 花立山穴観音古墳(小郡市) 仙道古墳(筑前町) 狐塚古墳(朝倉市)
浦山古墳・日輪寺古墳(久留米市) 珍敷塚古墳・原古墳(うきは市)
五郎山古墳(筑紫野市)

④担当者研修会

加盟市町村担当職員の技能向上を目的として実施。

・第1回研修会

期 日：平成27年8月7日(金) 14時～17時

場 所：小郡市埋蔵文化財センター

内 容：事前審査についての講話と意見交換を行う。参加者数22名

講 師：佐藤 一郎 氏(福岡市経済観光文化局文化財部)

・第2回研修会

期 日：平成28年3月23日(木) 14時～17時

場 所：北筑後教育事務所 視聴覚室

内 容：「近年の文化財保護行政について」、「朝倉軌道」の講話及び加盟市町村が平成27年度に行った文化財事業(試掘確認・発掘調査・整備・普及啓発等)の事業を発表・意見交換を行った。参加者数18名

(8) その他の加入協議会

①九州博物館協議会

②福岡県博物館協議会

2. 研修派遣

(1) 文化庁主催研修会

①史跡等・重要文化的景観マネジメント研修会、文化的景観保護実務研修会
記念物保護行政担当者会議

開 催 日：平成27年6月16日(水)～17日(金)

開催場所：文部科学省 東館

②第2回埋蔵文化財担当職員等講習会

開 催 日：平成28年2月3日(水)～5日(金)

開催場所：鹿児島県歴史資料センター黎明館(鹿児島県鹿児島市)

(2) 福岡県教育委員会主催研修会

①福岡県埋蔵文化財安全講習会

開 催 日：平成27年7月15日(水)

開催場所：九州歴史資料館(小郡市)

講習会：「健診結果を生活習慣改善に活かそう～埋蔵文化財発掘調査現場等での健康づくり～」

吉田 純子 氏(福岡県北筑後保健福祉環境事務所)

②福岡県文化財担当職員研修

開催日：平成27年10月22日（木）13:00～17:00

開催場所：福岡県吉塚合同庁舎 801会議室

「文化財保護行政における近年の動向」杉原 敏之 氏

「世界遺産の取組みについて」企画・地域振興部総合政策課世界遺産登録推進室

「文化財建造物の登録にむけて」田上 稔 氏

「名勝調査事業の取組みと文化財庭園フォーラムについて」正田 実知彦 氏

（3）他団体

①第3回まちなみフォーラム in 内野宿

開催日：平成27年11月13日（金）10時～17時

開催場所：正円寺（飯塚市内野）

（4）課内研修

①埋蔵文化財調査チーム専任非常勤職員研修

第1回 「近世陶磁器の資料作りにむけて ー活用しやすい資料についての検討ー」

開催日：平成27年6月4日（木）

研修内容：肥前系、瀬戸、京都など、近世の調査で出土量が多い陶磁器について、報告書作成に活用できる資料を作成する。今年度は染付文様の図柄を収集、分類し、実測や出土遺物一覧表作成時に名称等の検索を容易にし、混乱が見られる名称を統一するための台帳作成作業を行うため、その様式などを決定。

その後は年度末まで、近世の発掘調査報告書作成に向けて整理作業を行う中で、図紋の例を収集し、内容を充実させていく作業を進めた。

VIII. 所管団体の事業

1. 公益財団法人有馬記念館保存会

(1) 運営体制

(平成28年3月31日現在)

役員名	所属	氏名
会 長	久留米市長	檜 原 利 則
副 会 長	久留米商工会議所会頭	本 村 康 人
常務理事	久留米市市民文化部長	野 田 秀 樹
理 事	篠山神社宮司	山 田 茂 人
理 事	久留米大学理事長	神 代 正 道
理 事	(株)ブリヂストン九州生産本部 総務部長	酒 井 田 達 朗
監 事	(株)福岡銀行執行役員・県南地区 本部本部長	権 藤 尚 彦
監 事	久留米市会計管理者	長 尾 孝 彦

評 議 員	久留米市副市長	橋 本 政 孝
評 議 員	久留米郷土研究会代表	樋 口 一 成
評 議 員	篠山神社総代	河 北 宣 正
評 議 員	(公財)久留米観光コンベンション 国際交流協会常務理事	辻 文 孝
評 議 員	(株)ブリヂストン九州生産本部 総務部総務課長	木 村 裕
評 議 員	久留米市市民文化部次長	竹 村 政 高

・事務局

事務局長(1) — 事務局次長(1) — 事務局員(5)

・会議の決議事項

会 議	年 月 日	議 決 事 項
評議員会の書面表決	平成27年4月6日	(1) 監事選任の件の承認
第1回理事会	平成27年6月2日	(1) 平成26年度事業報告及び決算についての承認 (2) 第2回評議員会の招集についての承認

第2回評議員会	平成27年6月24日	(1) 平成26年度事業報告及び決算についての承認
第2回理事会	平成28年3月24日	(1) 平成28年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについての承認 (2) 平成28年度第1回評議員会の招集についての承認

(2) 周知事業

公益財団法人有馬記念館保存会では、地域の先人達が収集し伝承してきた貴重な郷土の資料や文化を、社会教育や学校教育に貢献することを目的とし、【1】資料の展示公開を通じて郷土の文化財の普及啓発、【2】他館や地域との連携・周知、【3】そのために、寄贈・寄託・収集資料の調査研究を行い、【4】安全な環境の中で保存管理するとともに、これらの事業を展開するための【5】施設の管理維持、などの事業を行っている。

①平成27年度実施事業の概要

「有馬記念館リニューアル5周年記念企画展」と銘を打ち、久留米に関わる歴史・文化の展示公開を主な目的とした企画展を4回開催した。

企画展「江戸のふしぎな動物たち」（平成27年6月6日～8月31日）は、学校の夏休み期間に合わせて、小・中学生とその家族も一緒に楽しめる＝幅広い世代が親しみやすい「動物」をテーマとし、江戸時代に描かれた絵画を中心に展示公開した。また、会期中には、「折り紙で作ろう動物たち」「判じ絵クイズ」を開催した。

企画展「大名有馬家名品展」（平成27年9月19日～11月16日）では、大名有馬家ゆかりの美術工芸品や歴史資料から、選りすぐりの品々を紹介し、甲冑や刀剣・薙刀などの武具や、書画、調度品などを展示し、有馬家の歴史をたどった。会期中、立花家史料館の植野かおり館長を招いて、「武家のアイデンティティーー久留米藩主有馬家の武具甲冑ー」と題した講演会を開催した。

企画展「久留米藩の参勤交代」（平成27年11月28日～1月25日）では、参勤交代のきまりを記した古文書、藩士の道中日記や携行品、江戸藩邸の様子を描いた絵画などを展示し、久留米藩の参勤交代を紹介した。

企画展「おひなさまとミニチュアのお道具」（平成28年2月13日～4月4日）では、たんすや棚、文房具、食器類など、蒔絵で装飾された精巧なミニチュアの調度類を一堂に公開し、有馬家で実際に飾られていたひな壇を再現した。また「春の香りの印香作り」と題し、お香作りのワークショップも開催した。

②加入協議会

- ・福岡県博物館協議会

2. 公益財団法人久留米絣技術保存会

(1) 運営体制

・役員

平成 26 年 3 月 31 日現在

役員名	所 属	氏 名
理事長	久 留 米 市 長	檜 原 利 則
常務理事	久留米市市民文化部長	野 田 秀 樹
理事	八 女 市 文 化 課 長	松 尾 一 秋
理事	筑後市教育委員会社会教育課長	高 木 正 勝
理事	広川町商工観光課長	山 下 俊 子
理事	大木町生涯学習課長 図書・情報センター館長	本 村 伸 治
理事	重要無形文化財久留米絣保持者会会長	松 枝 哲 也
理事	久留米絣協同組合理事長	池 田 光 政
理事	久留米絣縞卸商協同組 理 事 長	野 口 和 彦
監事	久留米市会計管理者	長 尾 孝 彦
監事	八女市教育委員会教育長	吉 住 政 子

評議員	福岡県文化財保護課長	赤 司 善 彦
評議員	久留米市教育委員会教育長	堤 正 則
評議員	久留米商工会議所会頭	本 村 康 人
評議員	筑後商工会議所副会頭	大 藪 健 介
評議員	広川町商工会会長	高 鍋 一 正
評議員	大木町商工会会長	菰 方 重 義
評議員	久留米南部商工会会長	中 村 哲 郎

・事務局

事務局長(1) — 事務局次長(1) — 事務局員(1)

・会議議決事項

会 議	年 月 日	議 決 事 項 (すべて承認)
第 1 回評議員会	平成 27 年 4 月 3 日	(1) 監事の選任について
第 1 回理事会	平成 27 年 6 月 3 日	(1) 平成 26 年度事業報告並びに決算について (2) 第 2 回評議員会の招集について
第 2 回評議員会	平成 27 年 6 月 24 日	(1) 平成 26 年度事業報告並びに決算について (2) 監事の選任について (3) 理事の選任について
第 3 回理事会	平成 28 年 3 月 23 日	(1) 平成 28 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて (2) 重要無形文化財久留米絣選考委員会規程の制定及び重要無形文化財久留米絣技術研修生養成事業規程の改正について (3) 評議員会の招集について

(2) 久留米絣技術保存事業

公益財団法人久留米絣技術保存会は、国庫補助金 1,500 万円、県費補助金 250 万円及び関係団体等の負担金により国庫補助事業である重要無形文化財久留米絣の伝承者養成事業等を行い、制作技術を保護し、その保存管理及び活用を図った。

事業内容については、重要無形文化財久留米絣の指定要件である、手括り、藍染め及び手織りの技術を対象として、久留米絣本来の技術保存のため、技術保持者に 2 反、伝承者養成として技術伝承者に 46 反の制作を行った。

また、平成 21 年度より開始した技術養成事業の第 4 回技術研修生を対象に、手括り・藍染め・手織り等の研修会を開催し、技術の恒久的保存とさらなる向上に努めるとともに、「新作展」等の展示会を福岡市と久留米市で開催し、久留米絣の PR に努め、歴史及びデザインの教材として参考資料の購入と、保存資料の撮影及び整理を行なった。

・技術者等養成研修事業

手括り研修会	平成 27 年 6 月 8 日～6 月 10 日
藍立て研修会	平成 27 年 6 月 12 日
藍染め研修会	平成 27 年 8 月 3 日
手織り研修会	平成 27 年 8 月 19 日～8 月 21 日
制作委員会	平成 28 年 3 月 2 日・10 日・27 日
技術研修生 1 名の技術伝承者への推挙	平成 28 年 2 月
技術伝承者 5 名に技術保持者への推挙	平成 28 年 3 月

・品質管理事業

- 第1回中間検査 平成27年8月21日
- 第2回中間検査 平成27年11月20日
- 第1回作品検査 平成27年10月23日
- 第2回作品検査 平成27年12月18日
- 第3回作品検査 平成28年2月12日

・原材料及び用具の確保事業

- アラソウ生育調査 平成27年6月26日
- アラソウ刈取り・製造支援 平成27年8月1日・2日

・資料収集整理及び研究調査事業

- 保存資料の整理 平成28年1月19日～1月28日
- 保存資料の撮影委託 平成28年3月
- 参考資料購入着尺3点 (不可欠特定財産とする)

・展示会事業

- 新作展(福岡市) 平成28年2月15日～21日 (入場者数:3,230名)
場所:アクロス福岡 匠ギャラリー 平成27年度研修作品・古布等を展示 手織りの実演
- 新作展(久留米市) 平成28年3月19日～20日 (入場者数:380名)
場所:地場産くるめ 平成27年度制作作品・研修生作品・古布等を展示

・その他の事業

- 共立女子大学への資料提供及び久留米絣展示会の視察
- 全国重要無形文化財保持団体協議会久米島大会への参加

(3) 全国重要無形文化財保持団体協議会(久留米市加盟)

○目的

全国重要無形文化財保持団体および関係する市町村が協調し、重要無形文化財の保存に関する調査研究およびその具体的方策の推進を図り、もって重要無形文化財の技術伝承と保存活用に資することを目的とする。

○事業

1. 役員会 平成27年7月2日 島根県浜田市 (浜田ワシントンプラザ)
2. 総会 平成27年11月5日～6日 久米島大会 沖縄県久米島町
平成27年11月5日 行政担当者会議・大会(具志川農村環境改善センター)
平成27年11月6日 視察研修(久米島紬 真謝ユイマール館、西銘ユイマール館)
3. 普及活動 第23回重要無形文化財保持団体秀作展 「日本の伝統美と技の世界」
平成27年11月5日～平成27年11月22日

報告（２） 平成28年度の事業概要

I. 文化財保護課の体制

久留米市		〒830-8520 久留米市城南町15-3 bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp			
		課長	チームリーダー	事務職	専門職
<p>教育長 堤 正則 0942-30-9000</p> <p>市長 檜原 利則 副市長 橋本 政孝 森 望</p> <p>市民文化部 (市長部局) 市民文化部長 野田 秀樹 文化芸術担当部長 甲斐田 忠之</p> <p>市民文化部次長 竹村 政高</p> <p>文化財保護課 0942-30-9225 FAX 0942-30-9714</p> <p>埋蔵文化財センター 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045</p> <p>文化財收藏館 0942-38-6194 FAX 0942-34-5045</p> <p>西町発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-37-7687</p> <p>筑後国府跡発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-45-1075</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 0942-27-9281 FAX 0942-27-7281</p> <p>有馬記念館 TEL/FAX 0942-39-8485</p>	文化財保護課	埋蔵文化財 課長補佐 山崎 万里子	事務主査 豊福 早苗	主査 水原 道範 事前確認 塚本 映子(事務主査) 本田 岳秋 西町発掘調査事務所 熊代 昌之 廣木 誠 江頭 俊介 西 拓巳 古賀 和子(専) 宮崎 彩香(専) 筑後国府跡発掘調査事務所 神保 公久 小川原 励 米澤 美詠子(専) 埋蔵文化財センター 園井 正隆(再)	
	課長兼埋蔵文化財 センター所長 馬場 博文	学芸 課長補佐 白木 守	事務主査 小形 孝徳	小澤 太郎 穴井 綾香 佐藤 響子 穴井 綾香 文化財收藏館 寺崎 勝美(嘱) 吉岡 秀美(専) 石橋久美子(専) 六ツ門展示コーナー 中村 吉文(再) 松田 弘(嘱)	
	(公財)有馬記念館 保存会	保存管理 主査 丸林 禎彦	市村 久美子 倉吉 孝道 古賀 文子(任)	江島 伸彦 神保 公久(兼任) 廣木 誠(兼任)	
	(公財)久留米緋 技術保存会 事務局長 馬場 博文	事務局次長 丸林 禎彦	大藪 住江	白木 守 江島 伸彦 市村久美子 倉吉 孝道	

(再) は再任用職員、(嘱) は嘱託職員、(専) は専任非常勤職員、(任) は任期付非常勤職員の略。

II. 文化財の指定

市内の指定文化財は、国指定文化財 27 件、県指定文化財 43 件、市指定文化財 103 件、国登録文化財 5 件である。

【国・県指定文化財の動向】

有馬家大名墓地の霊屋の調査報告を今年度に行う。

石橋財団が所蔵する重要文化財 7 件（絵画 5 件、工芸品 1 件、書跡 1 件）については、石橋美術館からブリヂストン美術館へ移管されることが決定している。また、県指定無形文化財である「久留米緋織締」は久留米市から広川町へ管理が移管される予定である。

昨年度、指定候補としていた「虫追い祭」については、後継者等の課題もあり、保護団体内部で文化財指定について慎重な意見がでてきており、協議の結果本年度の指定は見送りとした。保護団体とは今後も協議を継続していく。

久留米市内の指定文化財表

指定別	総数	有形文化財										無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	選定技術保存	登録文化財
		総数	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料								
総数	178	87	21	11	18	9	2		7	9	3	2	31	10	23	1	26	0	5
国	32	20	2	3	4	2	1		0	0		1	0	1	9	0	3	0	5
県	43	22	8	3	3	3	0		2	3		1	5	2	6	0	7	0	0
市	103	45	11	5	11	4	0		5	6	3	0	26	7	8	1	16	0	0

(平成 28 年 3 月 31 日)

※史跡と天然記念物に二重指定されている「目安町の一里塚」は、史跡に入れている。

Ⅲ. 埋蔵文化財調査事業

1. 事前確認及び発掘調査事業

ここ数年民間開発に伴う分譲・宅地造成・マンション建設に伴う発掘調査が依然として増加傾向にある。窓口での「埋蔵文化財包蔵の有無についての照会」（事前確認）は、前年比1.2倍と増加傾向にある。また、市街地の小学校建て替えに伴う調査も30年度まで予定されており、公共・民間事業共に減少の兆しは見られない。

9月現在発掘調査中の遺跡

調査番号	遺跡名	調査期間	担当者
201513	久留米城外郭遺跡（第23次調査）	平成28年2月11日～平成28年7月29日	江頭
201601	白川遺跡（第6次調査）	平成28年4月11日～平成28年7月8日	西
201602	京隈侍屋敷遺跡（第28次調査）	平成28年4月11日～平成28年6月17日	小川原
201603	京隈侍屋敷遺跡（第29次調査）	平成28年5月9日～平成28年5月23日	熊代
201604	筑後国府跡（第285次調査）	平成28年6月6日～平成28年7月22日	廣木
201605	京隈侍屋敷遺跡（第30次調査）	平成28年6月30日～平成29年6月末終了予定	熊代
201606	十間屋敷遺跡（第6次調査）	平成28年7月6日～平成28年8月28日	西
201607	白川遺跡（第7次調査）	平成28年7月25日～平成28年9月2日	小川原
201608	大園遺跡（第5次調査）	平成28年7月27日～平成28年8月18日	神保
201609	十間屋敷遺跡（第7次調査）	平成28年8月1日～平成28年8月24日	江頭
201610	へボノ木遺跡（第73次調査）	平成28年8月1日～平成28年11月末終了予定	廣木
201611	白川遺跡（第8次調査）	平成28年9月5日～平成28年10月31日終了予定	西
201612	市ノ上北屋敷遺跡（第8次調査）	平成28年9月12日～平成28年10月31日終了予定	江頭
201613	高良山講堂跡（第1次調査）	平成28年9月13日～平成28年10月21日終了予定	神保

2. 埋蔵文化財センター

平成18年度から実施している国庫補助事業の「埋蔵文化財保存活用整備事業」では、昨年度より筑後国府跡の再整理に着手しており、報告書を作成するための整理作業を実施する。

今年度はまず、古宮・大林地区、阿弥陀地区の出土資料を再点検し、古宮・大林地区については今年度中に報告書を発行する予定である。

この他、前年度同様、発掘調査および報告書が刊行された遺跡について、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、收藏する。

IV. 文化財保存・整備事業

本年度に係る事業は、美術品4点の修復、建造物の修復事業1件、民俗文化財保存事業2件、史跡等の整備に係る事業及び天然記念物に係る事業5件である。

1. 有形文化財

(1) 収蔵資料補修事業

平成28年度の収蔵資料補修事業は、伝坂本繁二郎「山水図」(紙本墨画・掛幅装)、三谷有信「筑後国府図」(紙本着色・一紙)、三谷有信「高良山真景図」(紙本着色・一紙)、三谷有信「高良山神籠石略図」(紙本着色・一紙)の4点について実施する。補修は熊本市の富永米山堂へ委託する予定である。

(2) 建造物修復・悉皆調査事業

①高良大社本殿・幣殿・拝殿保存修理事業

昨年より継続して工事を行っている。2年目の今年度は、本殿の屋根部分を主に修復する予定である。また、保存修理事業に伴い、神社関連施設も合わせて建て直しを行う予定で、これに先行して9月13日より発掘調査を行い、高良大社に関連する遺構を確認する。

②寺町歴史的建造物等調査事業

平成25年度より実施している事業で、本年で4ヵ年目となる。過去3年間で10ヵ寺院を調査しており、今年は2ヵ寺院の調査を予定している。

③高良山神籠石環境整備事業

神籠石の指定地内で、民家と隣接する部分の法面が緩み、危険な状態となっているので、法面保護のための工事を実施し、史跡の安全性と見学の利便性を向上する。

2. 記念物

(1) 史跡整備事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

平成28年度については、3件の史跡地の買上げを予定している。契約が成立すれば、国司館地区の買上げが終了する。全体の公有化率は85.22%となる。

②史跡筑後国府跡保存活用計画策定事業

平成28年度から2ヵ年の計画で保存活用計画を策定する。本年度は1/1,000縮尺の地図と筑後国府跡の現地調査を行い、現況を確認する。

V. 文化財管理事業

1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、15団体の事業へ補助金を交付している。

(1) 文化財保護団体

- ・鬼夜保存会 重要無形民俗文化財「鬼夜」管理団体
- ・花火動乱蜂保存会 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体
- ・草野風流保存会 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸祭」管理団体
- ・若宮八幡宮神幸祭実行委員会 市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮神幸祭」管理団体
- ・八丁島の御供納 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体
- ・御井町風流保存会 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体
- ・満月会保存会 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体
- ・高良山同志会 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体
- ・特定非営利活動法人ヒナモロコ里親会 市指定天然記念物「ヒナモロコ」保護活動団体
- ・NPO法人ヒナモロコ郷づくりの会 市指定天然記念物「ヒナモロコ」保護活動団体

(2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体

- ・高良山の緑と史跡を守る会
- ・久留米郷土研究会
- ・山川校区郷土研究会
- ・田主丸郷土会

2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を4団体、2名に管理委託し、史跡2箇所の草刈りについては、指名競争入札により業者へ委託している。

(1) 指定文化財の管理業務

- ・浦山古墳 国指定史跡 保存庫の施錠管理、見学者の応対 成田山久留米分院
- ・下馬場古墳 国指定史跡 保存庫の施錠管理、見学者の応対 個人
(平成26年度から環境調査のため見学停止中)
- ・高良山神籠石 国指定史跡 高良山神籠石の清掃、見回り点検 高良大社
- ・日輪寺古墳 国指定史跡 保存庫の施錠管理、見学者の応対 日輪寺
- ・大善寺旧庫裡 市指定有形文化財(建造物) 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検 個人
- ・目安町の一里塚 市指定史跡天然記念物 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 目安町自治会
- ・筑後国府跡 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 委託
- ・安国寺甕棺墓群 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 委託

(2) 歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）の石浦大橋を含むおおはし歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚権現塚史跡の広場 国指定史跡 御塚古墳、権現塚古墳と公園敷地内の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡 田主丸大塚古墳と歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

3. 防犯・防災事業

(1) 文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。本年においては、須佐能袁神社において防火訓練を実施する。

日 時：平成29年1月某日 午前中

場 所：須佐能袁神社（久留米市草野町）

主 催：久留米市

内 容：例年通り火災想定シミュレーションを実施。

参加者：未定

(2) 防災施設設置及び管理事業

重要文化財「木造阿弥陀如来立像」を所有する無量寺が、火災報知機等の防災施設を設置するため、補助金を交付した。その他、例年同様、防災施設の管理に関する補助金を交付している。

- ・高良大社所蔵文化財 重要有形文化財、県指定文化財各種 管理に対する補助金 高良大社
- ・善導寺所蔵文化財 重要有形文化財、県指定文化財各種 管理に対する補助金 善導寺
- ・木造阿弥陀如来立像 重要有形文化財 管理に対する補助金 専念寺
- ・木造阿弥陀如来立像 重要有形文化財 管理に対する補助金 無量寺
- ・上野家住宅御成間 県指定有形文化財 管理に対する補助金 個人
- ・鹿毛家住宅 県指定有形文化財 管理に対する補助金 個人
- ・須佐能袁神社本殿・拝殿・楼門 県指定有形文化財 管理に対する補助金 須佐能袁神社
- ・地藏来迎図板碑 県指定有形文化財 管理に対する補助金 国分寺
- ・朝日寺木造神子栄尊坐像 県指定有形文化財 管理に対する補助金 朝日寺（秋以降申請予定）

VI. 文化財の活用・周知普及

1. 公開活用事業

(1) 久留米市六ツ門図書館展示コーナー

六ツ門図書館展示コーナーは、平成22年10月の開館以来、毎年1.5万人を超える来場者を数えている。平成28年度は開館6年目にあたり、累計入館者数が10万人に達することが予測される。平成28年度は、市民の生活に大きく関わる「戦争と平和」「地震災害」「まつりとくらし」をテーマとして取り上げ、更なる集客を図る。

また、春先を中心に、当課主催企画展の空き期間中に他部局主催の展示も行っている。今年度は3回実施している。

① 平和資料展「荒木・久留米空襲の証言」

会期：平成28年7月2日（土）～平成28年9月11日（日）

主旨：昨年度好評を博した「戦後70年平和資料展・少年が見た久留米の戦争」展では、来館した市民から、荒木・久留米空襲に関する数多くの体験談が寄せられた。これらをもとに、本市所蔵品や借用した実物、写真、映像など各種資料を展示し、戦争体験のない世代へも空襲の悲惨な実態や当時の市民生活をわかりやすく伝えていく。

関連イベント：証言会「空襲体験者は語る」 8月14日（日）

紙芝居「二つの弾片」上演 7月31日（日）

空襲遺跡ウォーク&久留米空襲戦災死者慰霊祭参列 8月11日（祝・木）

夏休みの自由研究相談会 8月7日（日）

ギャラリートーク 7月17日（日）・8月28日（日）・9月4日（日）

入場者数4,297人+ウォーキング18人 合計4,315人

② 企画展 東日本大震災から5年「大地に残る地震の爪あと」

会期：平成28年9月24日（土）～平成28年11月27日（日）

主旨：東北地方に甚大な被害をもたらした大震災から5年。久留米地域は比較的地震が少ないといわれるが、歴史上繰り返されてきた地震とその被害を伝える各種資料を展示することで、市民の防災・減災意識を喚起したい。

関連イベント：講演会「大地に学ぶ-遺跡に残された地震の爪あと-」

ギャラリートーク（全3回）

「液状化現象」親子ワークショップ

歴史探訪「地震痕跡をめぐるバスツアー」

③ 企画展「むかしのくらし展-くるめの年中行事とまつり-」

会期：平成28年12月10日（土）～平成29年3月5日（日）

主旨： 例年、小学3年生の社会科学習の「むかしの暮らし」単元に合わせ、久留米の昔の暮らしをテーマとする展示会を実施している。本年度は生活スタイルの変化の中、忘れ去られようとしている年中行事と祭りを取りあげる。展示にあたっては、市内外の小学校との連携を図り、学校教育を支援する。また、介護施設などに入所する高齢者の記憶を呼び起こし、思い出を語り合う回想法の場としての広報を行い、団体客の利用を促進する。

六ツ門図書館展示コーナーにおける他部局実施展示一覧

会期	展示会名	主催	入場者数(人)
3月12日～4月10日	人権ポスター展	協働推進部人権啓発センター	129
4月16日～5月15日	環境パネル展	環境部環境保全課	566
5月21日～6月19日	防災展	都市建設部部防災対策課	779

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

普及事業としては、通年において収蔵資料の貸し出し及び閲覧に対応できる体制を整える。

また、展示会等の公開事業としては、9月上旬に「久留米市理科作品展」と連携した「からくり儀右衛門大賞小・中学生創作作品展」を実施する。さらに、例年開催する企画展「第41回くまの考古資料展」は、10～11月にかけて『大地に残る地震の爪あと』をテーマに関連展示を開催する。

体験イベントとしては、「みづま祭り」において『勾玉づくり』のブースを設け、多くの市民に体験してもらい、文化財の普及・啓発を行う。

12月には上津校区コミュニティセンターを会場として、「上津の文化財」を開催する。上津校区の発掘調査の成果や地元に残る史跡を紹介した企画展を開催する。地域に根ざした文化財の普及・啓発を目的とする展示会であり、開催期間中に関連講座を2回予定している。

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であるのと同時に久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性を検討して平成15年7月に久留米市有形文化財（建造物）に指定された。平成18年度から平成21年度までの4年間をかけて修理復原工事を行い、平成22年5月1日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な企画展や体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

◆年間入場者目標：10,000名（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

◆開館日数：307日

<季節行事>

七夕まつり	<p>期間：平成28年7月7日（水）～8月7日（日）</p> <p>対象：一般 入場料：通常通り （短冊を飾りに来た場合は無料で、同伴の保護者も無料）</p> <p>内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る。</p>	493名
ひなまつり	<p>日時：平成29年2月1日（土）～4月2日（日）</p> <p>対象：一般 入場料：通常通り</p> <p>内容：坂本家に伝わる雛人形を展示し、期間中に体験事業・生誕記念コンサート・お茶会を実施。</p>	1,000名 見込み

<お茶会>

お茶を楽しむ会	<p>日時：平成29年3月20日（月、祝）10時～15時</p> <p>主催：江戸千家久留米不白会 共催：文化財保護課</p> <p>対象：一般</p> <p>茶券：一般500円、中学生以下300円</p> <p>※入場料（団体料金）を含む。</p>	100名 見込み
---------	---	-------------

<ミニコンサート>

七夕ナイト	<p>日時：平成28年7月30日（土）19時～21時</p> <p>演者：代表 松本 久実子 氏（京泉会）</p> <p>対象：一般 入場料・参加費：無料</p> <p>内容：生家の庭を竹燈籠とペットボトルキャンドルで彩る。 19時30分から一時間程度、大正琴の演奏を行う。</p>	63名
生誕記念 コンサート	<p>日時：平成29年3月11日（土）14時～15時</p> <p>演者：未定</p> <p>対象：一般 入場料・参加費：無料</p>	60名 見込み

<体験事業>

茶レンジ！ こども茶会♪	<p>日時：平成28年6月26日（日）10時～12時</p> <p>講師：西村 宗尚 氏</p> <p>対象：小学生20人募集 入場料・参加費：無料</p> <p>内容：お茶の作法について先生から学ぶ。</p>	24名
-----------------	---	-----

流しそうめんを 食べよう♪	日時：平成28年8月20日（土）10時～12時 対象：小学生40人募集 入場料・参加費：無料 内容：青竹で箸と器を作って、地元住民と一緒に流しそうめんを 食べて楽しむ。	40名
画伯に チャレンジ！	日時：平成28年10月22日（土）10時～15時 講師：宇美 拓哉氏 対象：小学生20人募集 入場料・参加費：無料 内容：生家・庭の中からテーマを決めて絵を描く。	20名 予定
餅つき大会♪	日時：平成28年12月17日（土）10時～12時 対象：小学生30人募集 入場料・参加費：無料 内容：地元住民とともに、餅つきをして、ついた餅を食べる。	30名 予定
折り紙で雛人形 を作ろう♪	日時：平成29年2月4日（土）13時30分～15時30分 講師：関根 千鶴子氏 対象：一般15名募集 入場料・参加費：無料 内容：折り紙で雛人形を作る。	15名 予定

<落語>

素人落語寄席	日時：平成29年1月21日（土）13時30分～15時30分 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：久留米落語長屋のメンバーによる寄席	60名 見込み
--------	---	------------

(4) 歴史探訪

六ツ門図書館展示コーナーで開催される「大地に残る地震の爪あと」に合わせて市内の地震痕跡が残る遺跡等を巡るバスツアーを実施する。

・期日 平成28年10月2日（日） ・定員40人

(見学地) 水縄断層他

(費用) 参加費は無料 ※昼食は実費負担

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として全庁的に取り組む「出前講座」では、文化財保護課は次の2メニューを受け持つ。

① 私のまちの歴史と文化財

②歴史を体験

(2) 実習受け入れ

受入期間：平成28年8月16日～26日（うち9日間）

受入人数：久留米大学2名、筑紫女学園大学1名

受入施設：久留米市埋蔵文化財センター、久留米文化財収蔵館ほか

3. 刊行物

(1) 久留米市文化財調査報告書

第370集	『櫛原侍屋敷遺跡 - 第20次調査 - 』	平成28年 月
第371集	『庄島侍屋敷遺跡 - 第10次調査 - 』	平成28年12月
第372集	『久留米城下町遺跡 - 第25次調査 - 』	平成28年12月
第373集	『三反田遺跡 - 第25次調査 - 』	平成28年12月
第374集	『久留米城外郭遺跡 - 第24次調査 - 』	平成29年1月
第375集	『京隈侍屋敷遺跡 - 第28次調査 - 』	平成29年2月
第376集	『碓遺跡 - 第5次調査 - 』	平成29年3月
第377集	『白川遺跡 - 第6次調査 - 』	平成29年3月
第378集	『高三瀦遺跡 - 第5次調査 - 』	平成29年3月
	『久留米市文化財調査集報17』	平成29年3月
	『平成28年度 筑後国府跡』	平成29年3月
	『平成28年度 久留米市内遺跡群』	平成29年3月
	『筑後国府跡－Ⅰ期（古宮）政庁－』	平成29年3月
	『有馬家大名墓所Ⅱ』	平成29年3月

以上を刊行する予定である。

(2) その他の刊行物

- ・歴史散歩 2冊（内容は未定）
- ・文化財マップ「山川校区」
- ・収蔵館ニュース
- ・筑後国府通信

(3) 文化財説明板作成設置

久留米市内の指定文化財を中心に、文化財を解説する案内板を毎年、作成している。

本年度は「寺徳古墳」、「祇園山古墳」、「正福寺遺跡」、「隈山古墳群」に関する文化財説明板の説明板等を設置・修繕予定。

VII. 熊本地震による指定文化財等の被害状況

1. 被害状況

- ・ 総数 12 件 (平成 28 年 5 月 23 日現在)

	国指定	国登録	県指定	市指定	合計
被害確認件数	0	2	5	5	12
(参考) 指定文化財等件数	27	5	43	103	178

- ・ 指定文化財等の被害状況一覧

		指定区分	文化財名称	所在地	内 容
1	国登録	有形文化財 (建造物)	草野歴史資料館 (旧草野銀行本店)	草野町	・ 玄関の瓦が落下 ・ 壁にクラック
2		有形文化財 (建造物)	山辺道文化館 (旧中野病院診療棟)	草野町	・ 屋内壁にクラック
3	県指定	有形文化財 (建造物)	高良山御手洗橋	御井町	・ 欄干接合部のモルタル割れ
4		有形文化財 (建造物)	上野家住宅御成間	山本町	・ 床の間の内壁にクラック
5		有形文化財 (建造物)	久留米藩有馬家霊屋	京町 (梅林寺)	・ 瓊林院霊屋内宮殿の垂木及 び野地板一部脱落
6		有形文化財 (彫刻)	木造神子榮尊坐像	大善寺町 (朝日寺)	・ 左肩部分が破損
7		有形文化財 (考古資料)	法林寺宝篋印塔	城島町	・ 相輪部分が崩落
8	市指定	有形文化財 (建造物)	大善寺旧庫裡	大善寺町	・ 外壁漆喰にクラック ・ 内壁が剥落
9		有形文化財 (建造物)	城島天満宮の石造鳥居	城島町	・ 笠木の継ぎ目がずれている
10		有形文化財 (建造物)	石垣神社の石造鳥居	田主丸町	・ 笠木の端が下がっている
11		有形文化財 (建造物)	大善寺玉垂宮の石造鳥居	大善寺町	・ 柱の継ぎ目がずれている
12		有形文化財 (彫刻)	木造聖観音立像 木造不空羅索観音立像 木造十一面観音立像	大善寺町 (朝日寺)	・ 観音堂屋根瓦落下 ・ 壁破損 ・ 不空羅索観音立像台座破損

久留米市文化財専門委員会委員名簿(平成27年6月～平成29年5月)

部会	専門		氏名	所属
史 跡	考 古	会長	にしだに ただし 西谷 正	海の道むなかた館館長
	考 古		きのした なおこ 木下 尚子	国立大学法人熊本大学文学部教授
	考 古	○	よこやま くにつぐ 横山 邦繼	学識経験者(元福岡市職員)
	古代史		しげまつ としひこ 重松 敏彦	太宰府市総務部文書情報課
名 勝 天然記念物	天然記念物 植物	○	はしかわ ひろみ 橋川 ひろみ	福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター
	天然記念物 植物	副会長	なかみぞ なおみ 中溝 直美	荒木中学校教諭
	天然記念物 生物		たかやま よしこ 高山 美子	学識経験者(元北野町文化財専門委員)
	名勝庭園		ながまつ よしひろ 永松 義博	学校法人南九州学園 南九州大学園芸学部教授
有形文化財	歴史資料 古文書	○	なか の ひとし 中野 等	国立大学法人九州大学大学院教授
	美術工芸		もりやま ひでこ 森山 秀子	公益財団法人石橋財団 石橋美術館学芸課長
	絵 画		こばやし のりこ 小林 法子	福岡県文化財保護審議会委員
	建造物		おおもり ようこ 大森 洋子	学校法人久留米工業大学工学部 建築・設備工学科教授
無形文化財 及び 民俗文化財	民 俗		だんじょう たつお 段上 達雄	学校法人別府大学文学部教授
	無形染物		とりまる さだえ 鳥丸 貞恵	学識経験者(元大阪芸術大学通信教育部教授)
	民 俗	○	えしま まさみつ 江島 政光	学識経験者
	民 俗		みやざき しんじ 宮崎 伸二	福岡県文化財保護指導委員

○は部会長

